

自閉症児者の家族を対象とした アンケート実施について

実施：一般社団法人 日本自閉症協会

監修：内山登紀夫 今井忠

井上雅彦 志賀利一 日詰正文 本田秀夫 渡部匡隆

陳野功 野田敬子

<アンケート実施概要>

・有効回答数 : 423件

・実施期間 : 2020年12月1日～12月31日

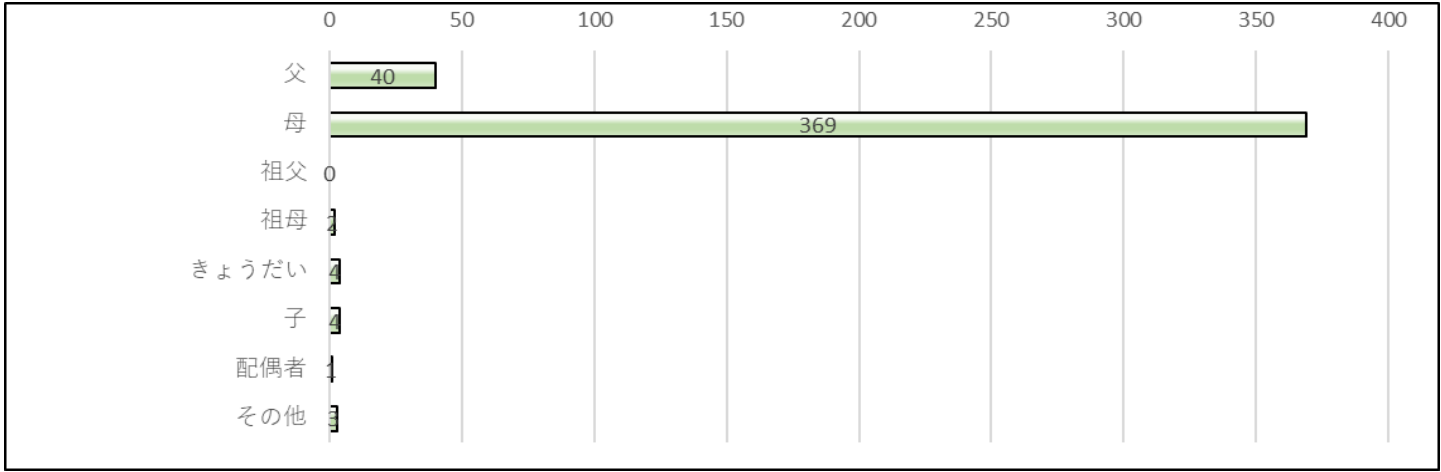
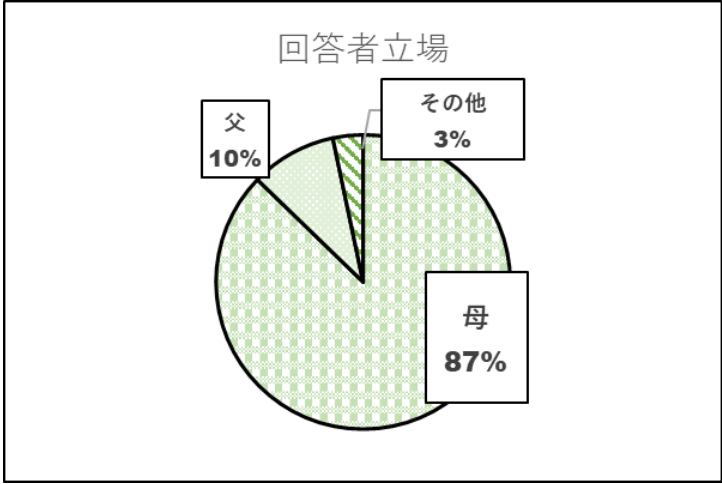
・調査方法 : クエスタントによるWEBアンケート

・目的 :

本調査の中で、自閉症の子どもや親・家族が生活を送る上で生じた困難さや心理的变化、社会的資源の利用の可否等の状況を把握し、今後の日本自閉症協会の活動や国の施策要望の基礎データとすることで、新型コロナウイルス禍における自閉症の人とその家族の安心できる生活の実現を目的として実施する。

Q1 回答者（親・ご家族の方）のお立場

項目	回答数	割合
父	40	9.5%
母	369	87.2%
祖父	0	0.0%
祖母	2	0.5%
きょうだい	4	0.9%
子	4	0.9%
配偶者	1	0.2%
その他	3	0.7%
合計	423	100.0%



→回答者の87,2%が母親となる。
 また、父親の回答も含めると、96,7%の回答者が親となる。

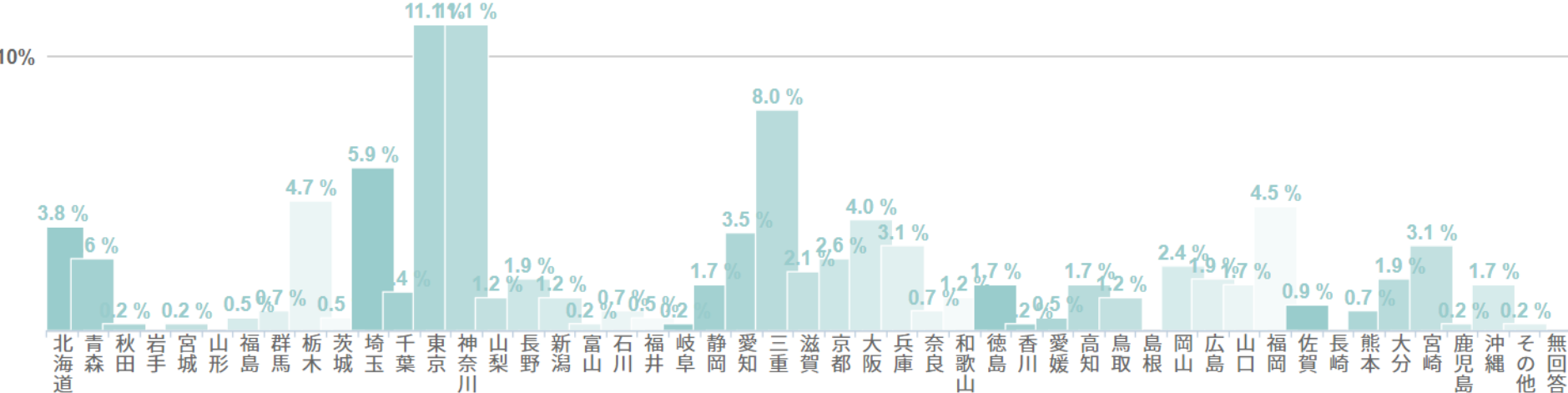
Q2 回答者（親・ご家族の方）のお住まいの地域

項目	回答数	割合
神奈川	47	11.1%
東京	47	11.1%
三重	34	8.0%
埼玉	25	5.9%
栃木	20	4.7%
福岡	19	4.5%
大阪	17	4.0%
北海道	16	3.8%
愛知	15	3.5%
宮崎	13	3.1%
兵庫	13	3.1%
京都	11	2.6%
青森	11	2.6%
岡山	10	2.4%

滋賀	9	2.1%
広島	8	1.9%
大分	8	1.9%
長野	8	1.9%
沖縄	7	1.7%
高知	7	1.7%
山口	7	1.7%
静岡	7	1.7%
徳島	7	1.7%
千葉	6	1.4%
山梨	5	1.2%
新潟	5	1.2%
鳥取	5	1.2%
和歌山	5	1.2%
佐賀	4	0.9%

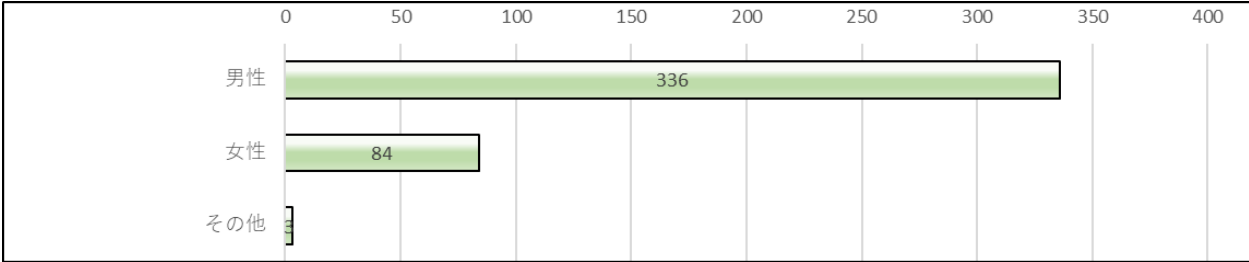
熊本	3	0.7%
群馬	3	0.7%
石川	3	0.7%
奈良	3	0.7%
愛媛	2	0.5%
茨城	2	0.5%
福井	2	0.5%
福島	2	0.5%
その他	1	0.2%
岐阜	1	0.2%
宮城	1	0.2%
香川	1	0.2%
鹿児島	1	0.2%
秋田	1	0.2%
富山	1	0.2%
合計	423	100.0%

項目	回答数	割合
北海道・東北	31	7.3%
関東	150	35.5%
中部	81	19.1%
近畿	58	13.7%
中国・四国	47	11.1%
九州	55	13.0%
その他	1	0.2%
合計	423	100.0%



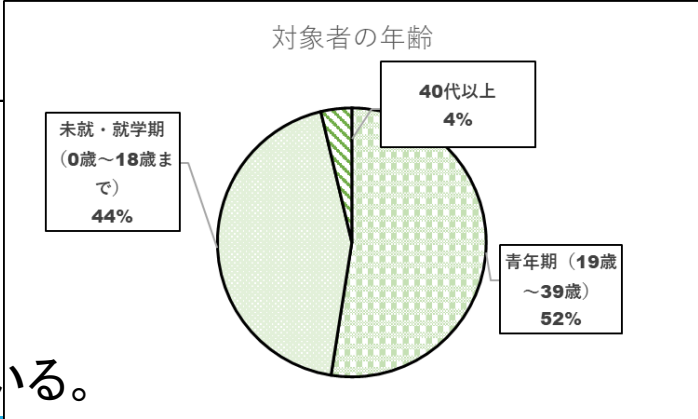
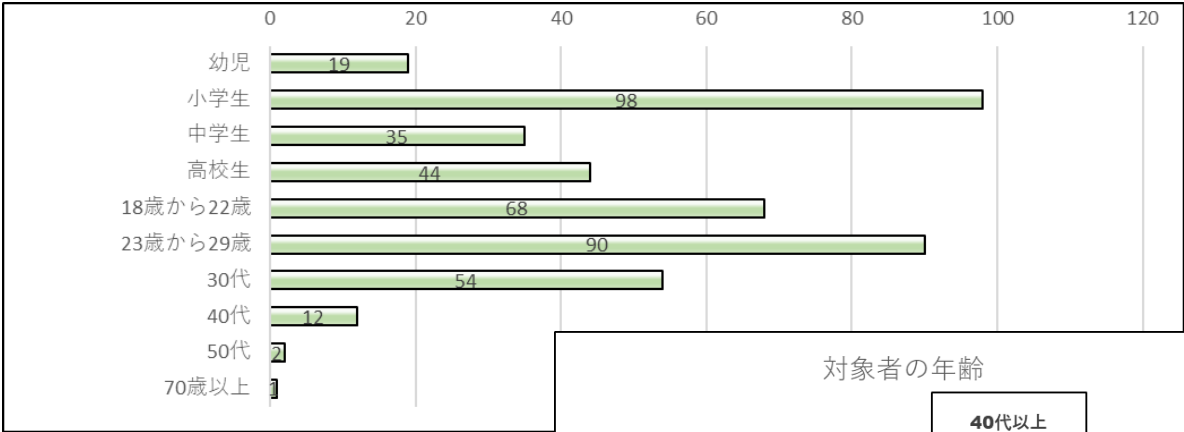
Q3 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の性別

項目	回答数	割合
男性	336	79.4%
女性	84	19.9%
その他	3	0.7%
合計	423	100.0%



Q4 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の年齢

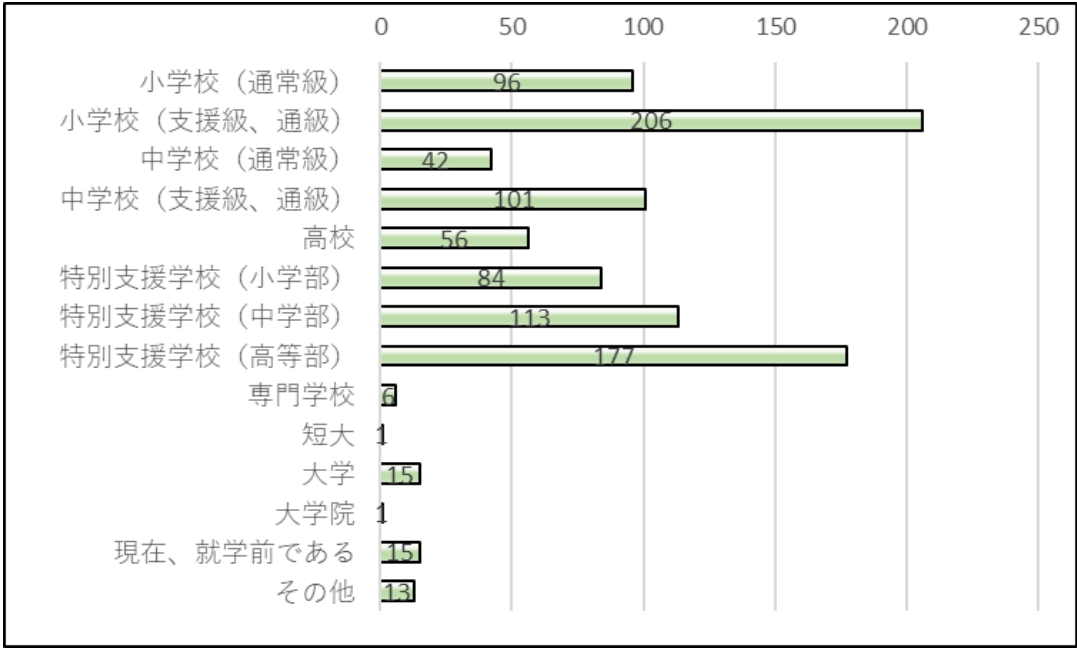
項目	回答数	割合
幼児	19	4.5%
小学生	98	23.2%
中学生	35	8.3%
高校生	44	10.4%
18歳から22歳	68	16.1%
23歳から29歳	90	21.3%
30代	54	12.8%
40代	12	2.8%
50代	2	0.5%
70歳以上	1	0.2%
合計	423	100.0%



→対象者は全体の約8割が男の方で
 青年期(19歳～39歳)が52%
 未就・就学期(0～18歳まで)が44%となり
 40歳以上の自閉症の方については全体の4%程となっている。

Q5 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の学歴（在籍された学校を回答）

項目	回答数	割合
小学校（通常級）	96	10.4%
小学校（支援級、通級）	206	22.2%
中学校（通常級）	42	4.5%
中学校（支援級、通級）	101	10.9%
高校（全日、夜間、定時、通信制 通信制サポート校等を含む）	56	6.0%
特別支援学校（小学部）	84	9.1%
特別支援学校（中学部）	113	12.2%
特別支援学校（高等部）	177	19.1%
専門学校	6	0.6%
短大	1	0.1%
大学	15	1.6%
大学院（修士・博士どちらでも可）	1	0.1%
現在、就学前である	15	1.6%
その他	13	1.4%
合計	926	100.0%



※複数回答有

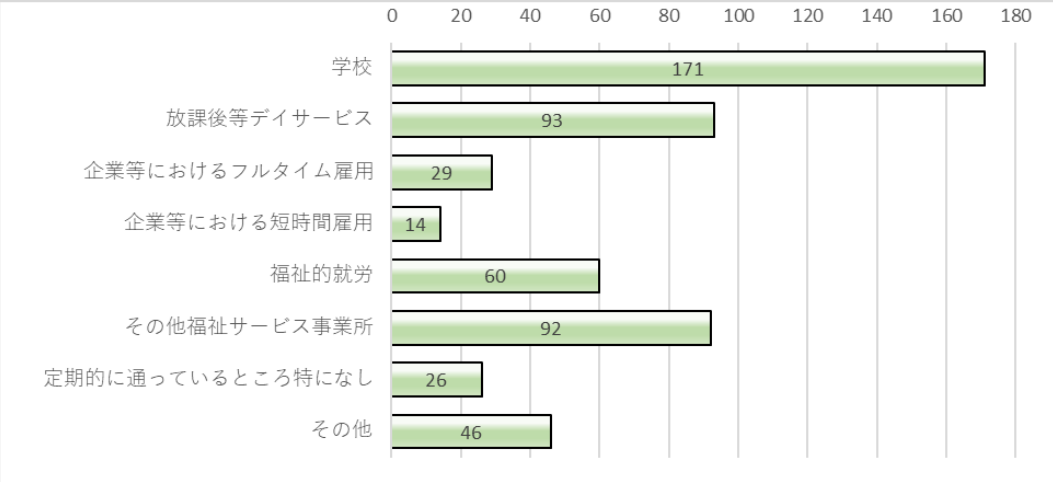
自由記述

私立の自閉症児クラス
 単置の高等支援学校
 特別支援学校小学部在籍中
 保育園・幼稚園(3)
 幼児

高等部専攻科在籍中
 国立高等工業専門学校
 今通級に申請中。通れば通級。

Q6 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の現在の主な日中活動

項目	回答数	割合
学校	171	32.2%
放課後等デイサービス	93	17.5%
企業等におけるフルタイム雇用	29	5.5%
企業等における短時間雇用	14	2.6%
福祉的就労	60	11.3%
その他福祉サービス事業所	92	17.3%
定期的に通っているところ特になし	26	4.9%
その他	46	8.7%
合計	531	100.0%



※複数回答有

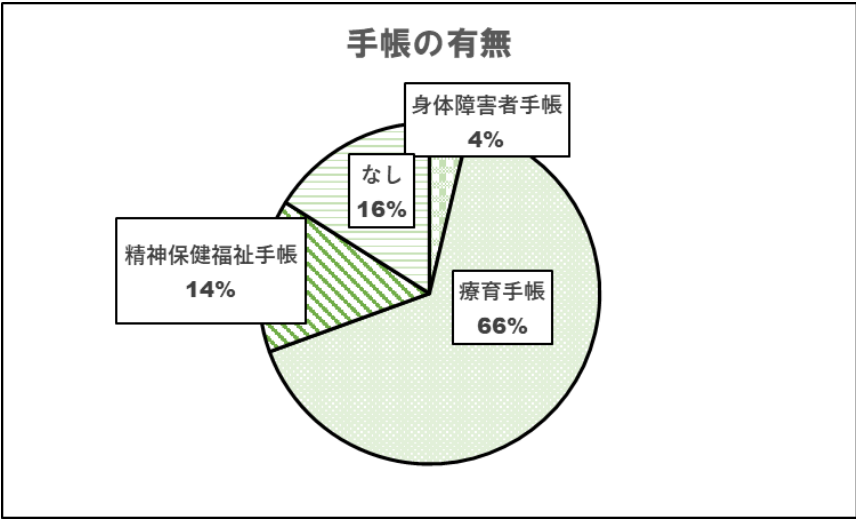
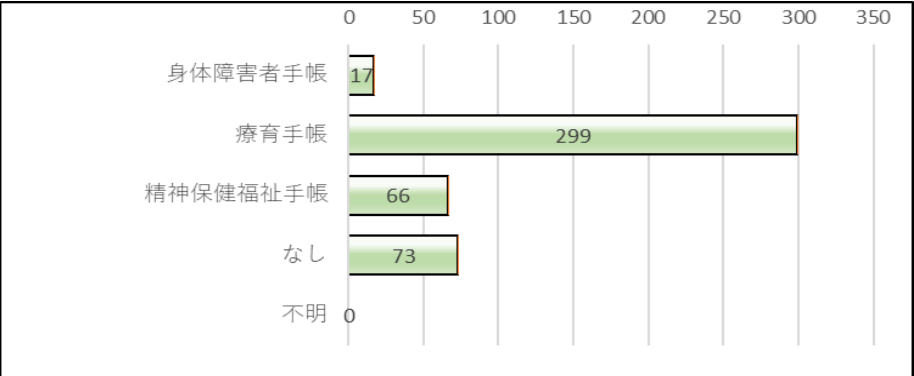
自由記述

- (児童) デイサービス・児童クラブ(3)
 児童発達支援教室・療育センター(6)
 適応指導教室
- (習い事) スイミングスクール(2)
 そろばん
- (仕事) テレワーク
 家に居て株のトレード
 一般企業の障害者枠による福祉的就労
 一般就労(2)

- (成人) 移動支援
 施設入所・生活介護(3)
 発達障害者支援センター
 グループホーム
- (自宅) 自宅(6)
 不登校(5)
- (未就学) 保育園(7)
 幼稚園(5)
- (病院) 入院・通院(2)
 医療機関の心理相談

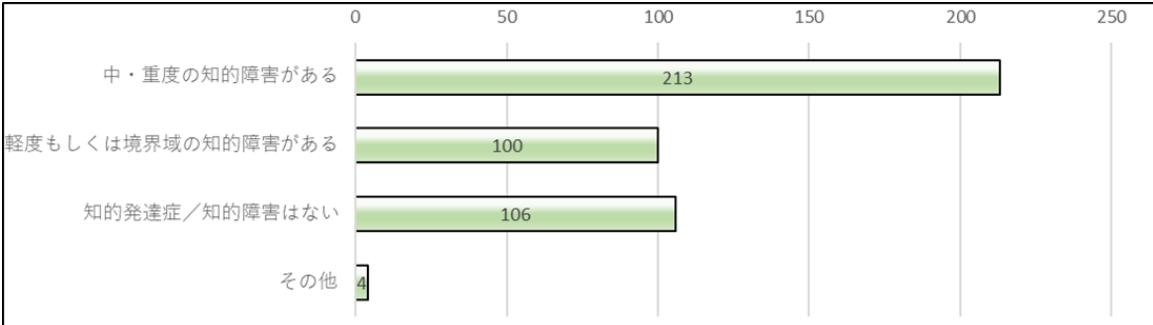
Q7 対象者（お子さん・自閉症の方本人）は次の手帳をお持ちですか？

項目	回答数	割合
身体障害者手帳	17	3.7%
療育手帳	299	65.7%
精神保健福祉手帳	66	14.5%
なし	73	16.0%
不明	0	0.0%
合計	455	100.0%



Q8 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の知的水準や、療育手帳について伺います

項目	回答数	割合
中・重度の知的障害がある	213	50.4%
軽度もしくは境界域の知的障害がある	100	23.6%
知的発達症／知的障害はない	106	25.1%
その他	4	0.9%
合計	423	100.0%



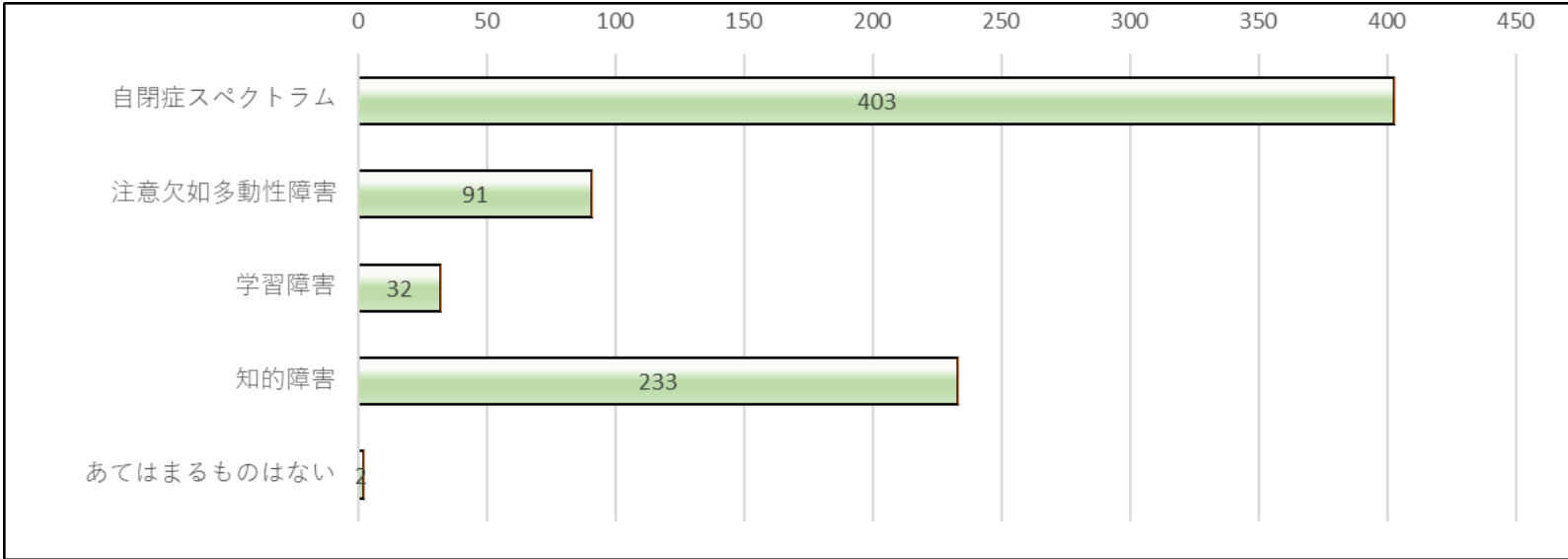
Q9 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の発達障害診断にあてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答数	割合
自閉症スペクトラム	403	53.0%
注意欠如多動性障害	91	12.0%
学習障害	32	4.2%
知的障害	233	30.6%
あてはまるものはない	2	0.3%
合計	761	100.0%

自由記述

- DCD(発達性協調運動障害)(6)
- APD(聴覚情報処理障害)
- トゥレット症候群
- プラダーウィリー症候群
- 運動遅滞
- 強度行動障害

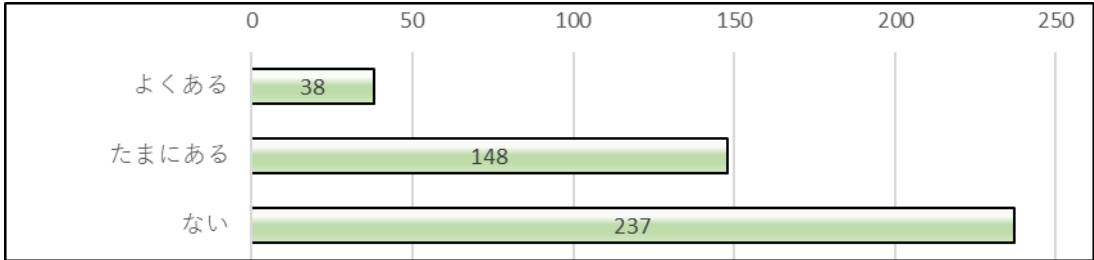
※複数回答有



Q10 対象者（お子さん・自閉症の方本人）は次のような行動上の問題がありますか(1/2)

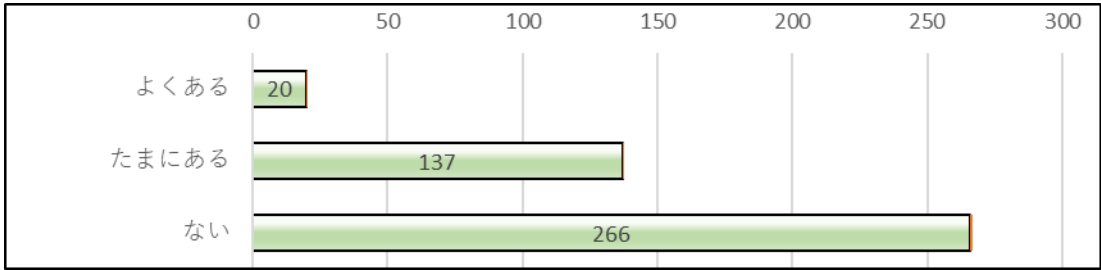
自傷行動

項目	回答数	割合
よくある	38	9.0%
たまにある	148	35.0%
ない	237	56.0%
合計	423	100.0%



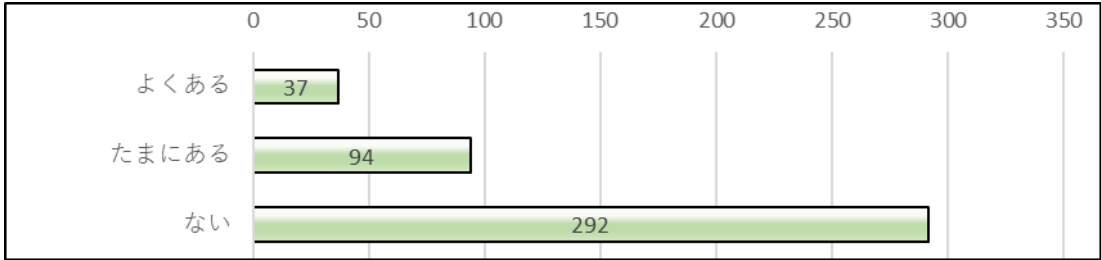
暴力行動

項目	回答数	割合
よくある	20	4.7%
たまにある	137	32.4%
ない	266	62.9%
合計	423	100.0%



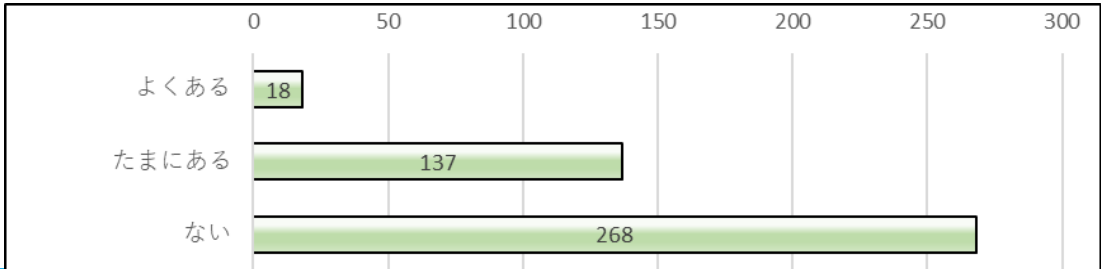
暴言行動

項目	回答数	割合
よくある	37	8.7%
たまにある	94	22.2%
ない	292	69.0%
合計	423	100.0%



破壊的行動

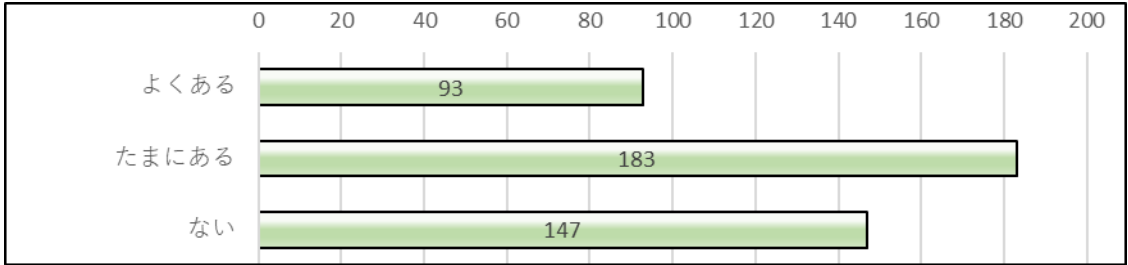
項目	回答数	割合
よくある	18	4.3%
たまにある	137	32.4%
ない	268	63.4%
合計	423	100.0%



Q10 対象者（お子さん・自閉症の方本人）は次のような行動上の問題がありますか(2/2)

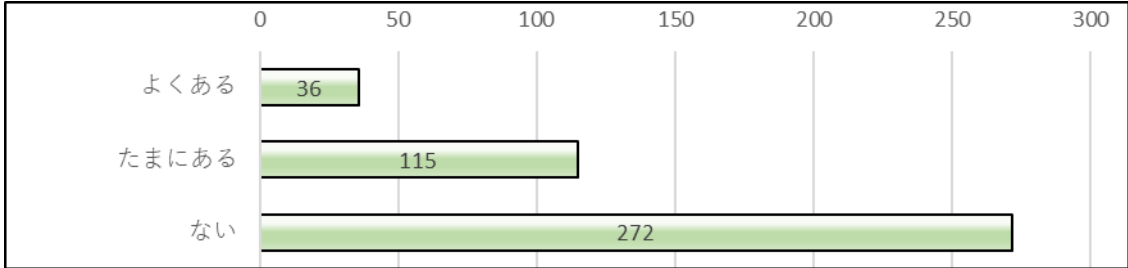
泣き叫びや大声

項目	回答数	割合
よくある	93	22.0%
たまにある	183	43.3%
ない	147	34.8%
合計	423	100.0%



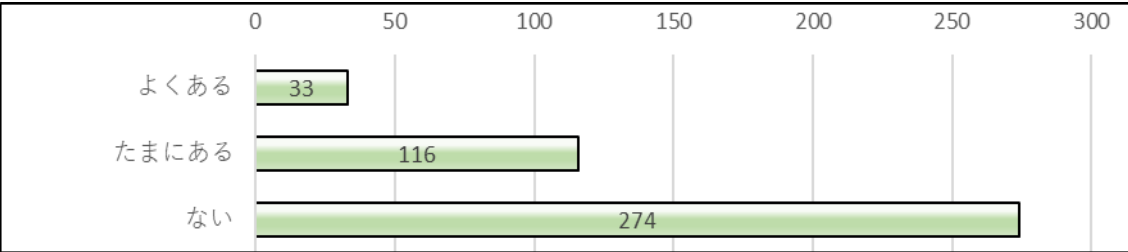
外出拒否

項目	回答数	割合
よくある	36	8.5%
たまにある	115	27.2%
ない	272	64.3%
合計	423	100.0%



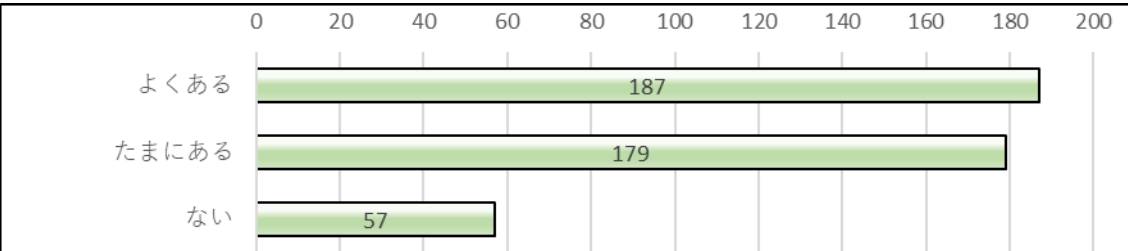
飛び出し

項目	回答数	割合
よくある	33	7.8%
たまにある	116	27.4%
ない	274	64.8%
合計	423	100.0%



強いこだわり

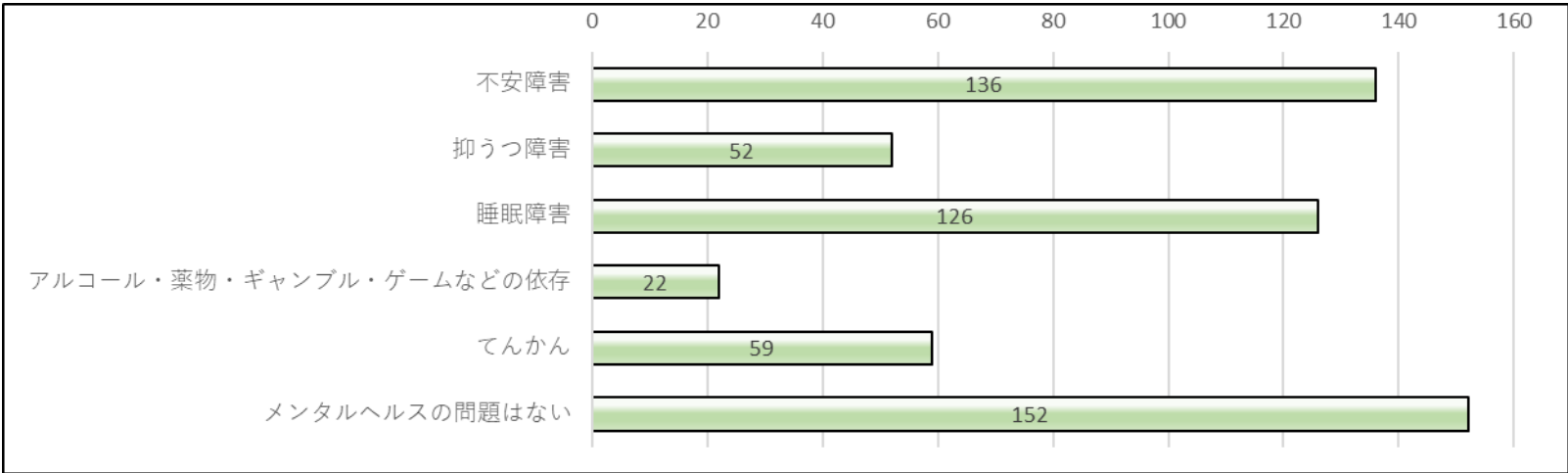
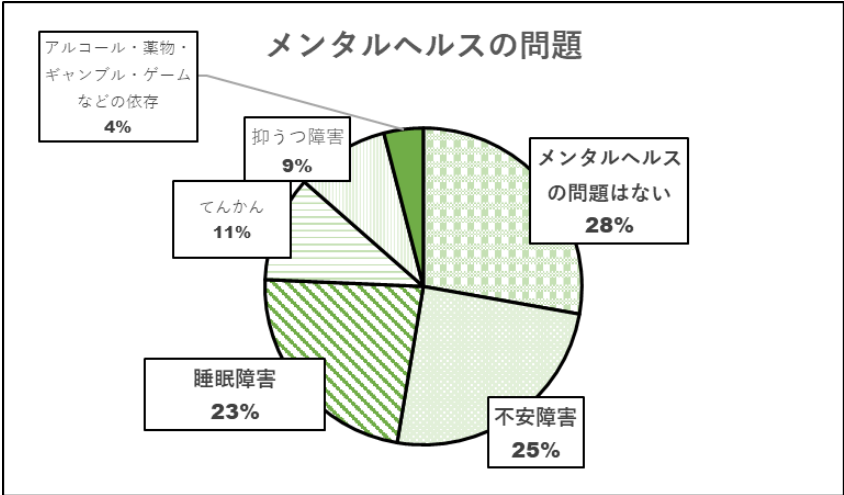
項目	回答数	割合
よくある	187	44.2%
たまにある	179	42.3%
ない	57	13.5%
合計	423	100.0%



Q11 対象者（お子さん・自閉症の方本人）は次のようなメンタルヘルスの問題がありますか？ありましたら、チェックして下さい。

項目	回答数	割合
不安障害	136	24.9%
抑うつ障害	52	9.5%
睡眠障害	126	23.0%
アルコール・薬物・ギャンブル・ゲームなどの依存	22	4.0%
てんかん	59	10.8%
メンタルヘルスの問題はない	152	27.8%
合計	547	100.0%

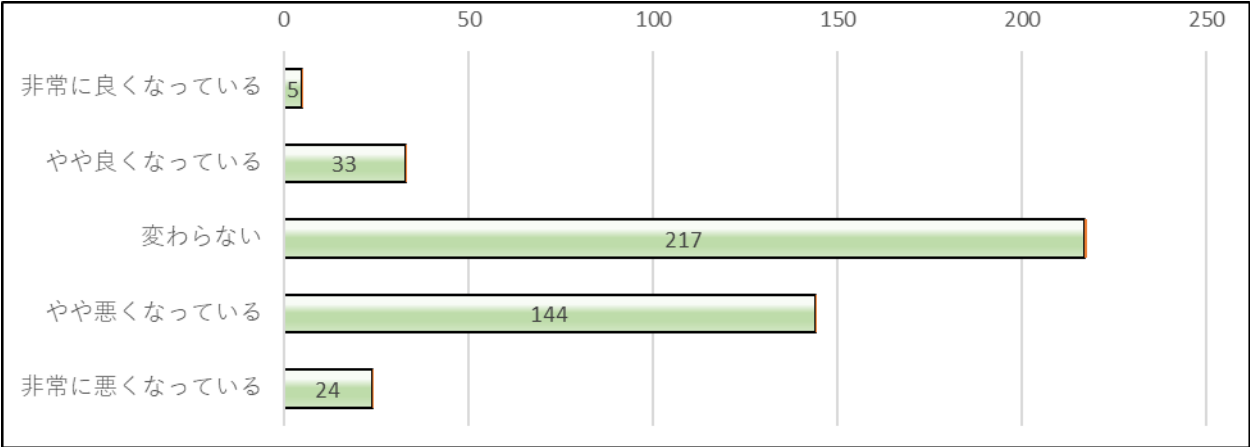
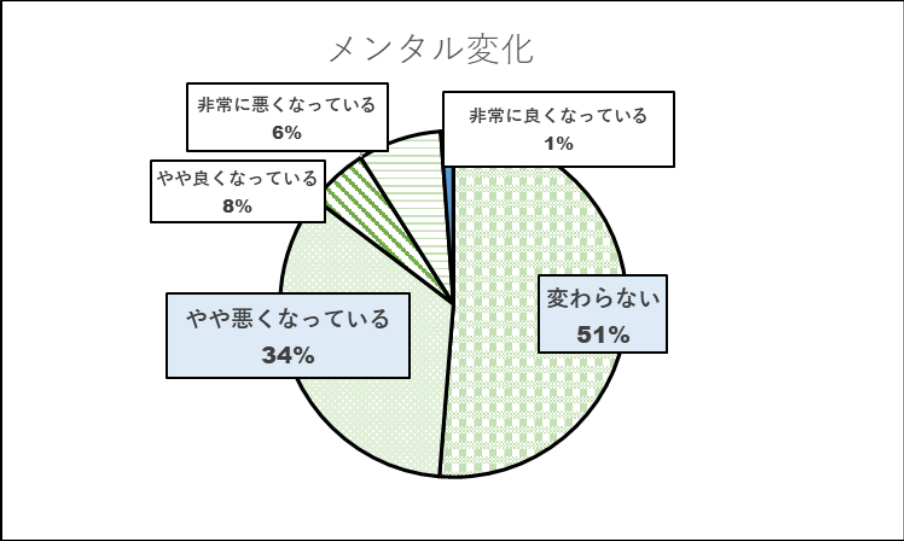
※複数回答有



→全体の28%が「メンタルヘルスの問題はない」と回答
 一方で不安障害と睡眠障害の回答も多くみられた。
 また自由記述で、コロナ禍におけるストレスの影響かこだわり行動がみられたとの回答もあった。

Q12 全体の印象として、新型コロナウイルス流行に伴い、対象者（お子さん・自閉症の方本人）のメンタル面の状態はどのように変化したように見えましたか？

項目	回答数	割合
非常に良くなっている	5	1.2%
やや良くなっている	33	7.8%
変わらない	217	51.3%
やや悪くなっている	144	34.0%
非常に悪くなっている	24	5.7%
合計	423	100.0%



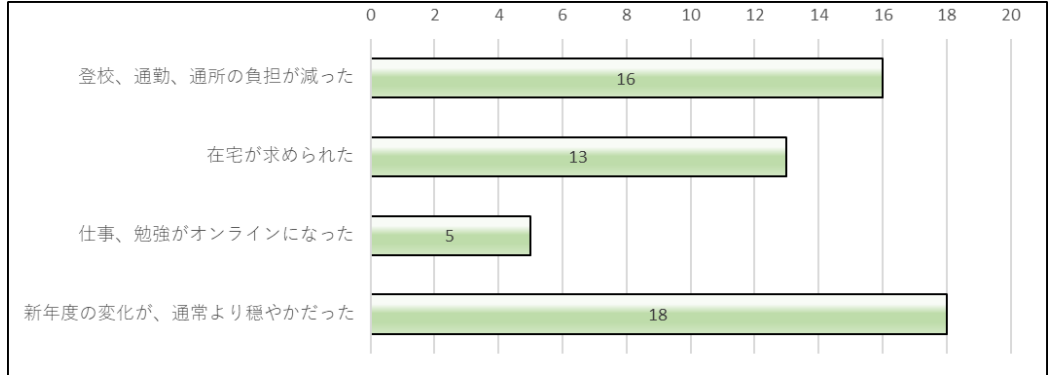
→メンタル面での変化が半数以上が変わらなく見えたと回答。
また、悪くなっているとの回答も全体の1/3を占めた。

Q13 Q12で「非常に良くなっている」「やや良くなっている」と答えた方に伺います。良くなった理由はなんだと思いますか？

→Q12での回答者38名

項目	回答数	割合
登校、通勤、通所の負担が減った	16	30.8%
在宅が求められた	13	25.0%
仕事、勉強がオンラインになった	5	9.6%
新年度の変化が、通常より穏やかだった	18	34.6%
合計	52	100.0%

※複数回答有



自由記述

- ・道具を用いて変更を前もって伝えているため、混乱はほとんどなく、かえって学校の行事が縮小しているのが本人にとって楽に感じるよう。
- ・家庭訪問アプローチが減った
- ・苦手な行事がたくさん中止となり本人としては安心できた。
- ・行事が無くなって毎日が同じ事の繰り返しで不安がないから。
- ・作業療法に通い始めた。
- ・時間がゆっくり流れた。本人のペースを尊重しやすかった。
- ・自粛して在宅。
- ・小学校は 途中から不登校、時々短時間登校であったが、現在は 学習はせず、本人の希望したカードゲームなど、本人に合った活動を支援級で対応してもらい短時間 毎日の登校をしている。休校中に対応の調整ができた。皆が学校を休んだので安心できた。
- ・新しい仕事に就くことができた。
- ・人との距離を堂々と持てるようになった。
- ・中学姉やテレワーク父の在宅が増え、家族で過ごす時間が増えた。
- ・変化した自分の生活に慣れてきた。
- ・母親の在宅勤務が増え、1人で過ごす時間が減り、不安が減った。
- ・放課後デイで毎日のように遊べる

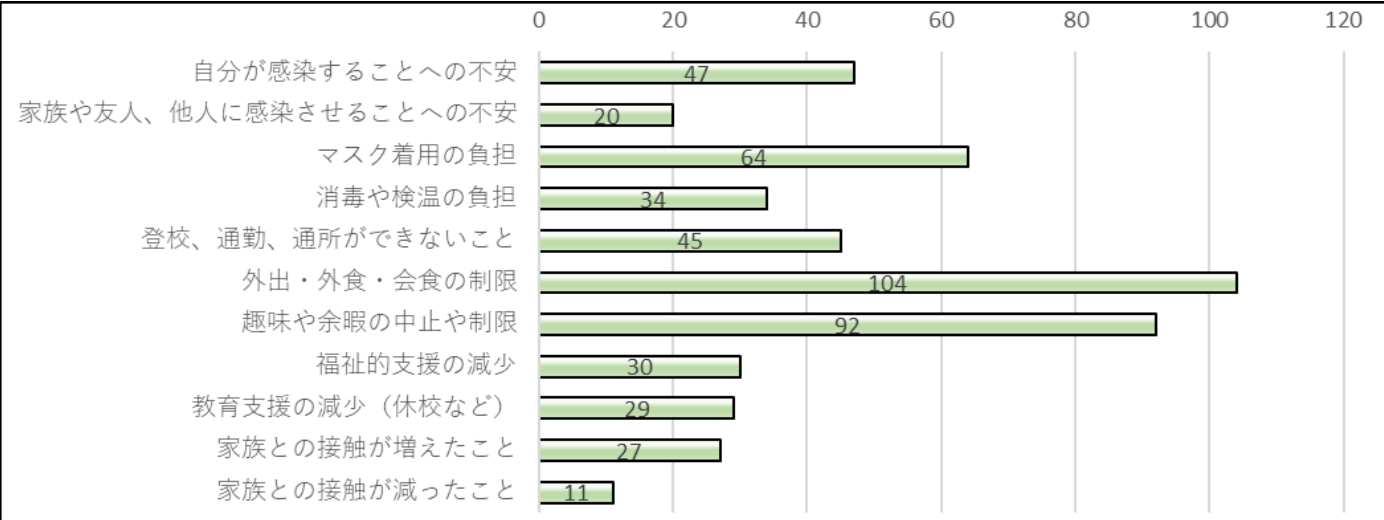
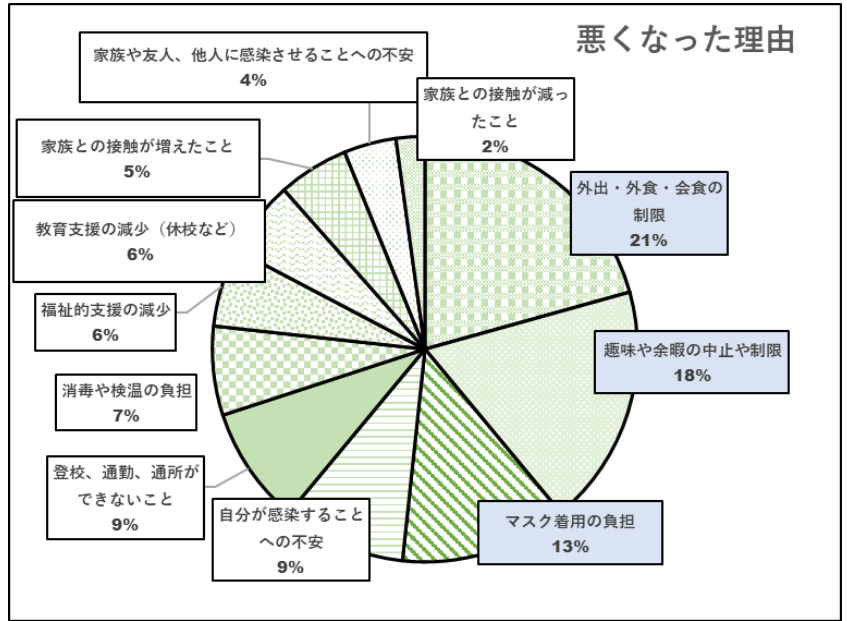
→「本人のペースに合わせて生活ができたこと」や「家族の在宅で不安が減ったこと」によって本人に合わせた生活によってよい傾向がみられたとの自由記述が多く寄せられた。

**Q14 Q12で「やや悪くなっている」「悪くなっている」と答えた方に伺います。悪くなった理由はなんだと思いますか？
当てはまる項目を全て選択してください。**

→Q12での回答者168名

※複数回答有

項目	回答数	割合
自分が感染することへの不安	47	9.3%
家族や友人、他人に感染させることへの不安	20	4.0%
マスク着用の負担	64	12.7%
消毒や検温の負担	34	6.8%
登校、通勤、通所ができないこと	45	8.9%
外出・外食・会食の制限	104	20.7%
趣味や余暇の中止や制限	92	18.3%
福祉的支援の減少 (ショートステイ、ガイドヘルパーの使いにくさなど)	30	6.0%
教育支援の減少 (休校など)	29	5.8%
家族との接触が増えたこと	27	5.4%
家族との接触が減ったこと	11	2.2%
合計	503	100.0%



<→次ページに続く>

Q14 Q12で「やや悪くなっている」「悪くなっている」と答えた方に伺います。悪くなった理由はなんだと思いますか？
当てはまる項目を全て選択してください。

（報道の影響）

- ・コロナがそもそも何かわからず、恐怖だけが伝わってしまっている。
- ・"テレビで連日、コロナの特集ばかりやっていて怖いというイメージだけが植え付けられてしまった。いつ終わるかわからない、見通しの立たなさがが、ストレスになっている。"
- ・テレビ番組の変化（記者会見の延長、リモートからスタジオにいつ戻るか？等）
- ・家にいる時間が増え、・マスコミの報道を見て不安になっている。
- ・"普段からニュース番組は怖がってみないが、特に今はずっと報道されているのもものすごいことが起きていると思い、恐れている"

（仕事・学校・変化）

- ・グループホームでの障害雇用の為、逆に休めない雰囲気となっている。
- ・休校の影響で再開後の学校は休み時間が減り、カリキュラムが詰めこみになった。
- ・作業所での一泊旅行や今迄行ってきた行事などの中止に対する不満
- ・仕事が自宅待機。
- ・就業時間や仕事の内容などが変更になり、規則も厳しくなった。
- ・職場の仕事量が増えたこと
- ・職場解雇

（その他）

（不安）

- ・世の中の漠然とした不安感
- ・生活が今まで通りでなくなったことからくる不安の増大
- ・他の人がコロナの話を共有していても自分はわからないという疎外感
- ・ASDで思春期だと、狭い空間で衝突が起こり易くなる。
- ・こだわりが強くなり、わがままになり、静止が効かない時が増えた。
- ・表情が読めない、会話が聞き取れない

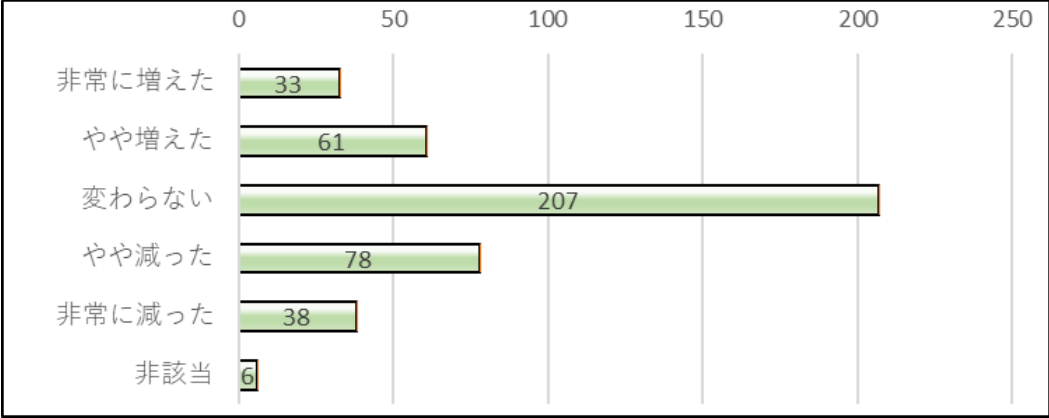
→連日の報道について不安を感じるとの回答を多くいただいた。

また、生活の大部分を占める、学校や職場での変化による状態が悪くなっている方もみられた。

Q15 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の変化で最もあてはまるのは、以下のどれですか？（1・2/7）

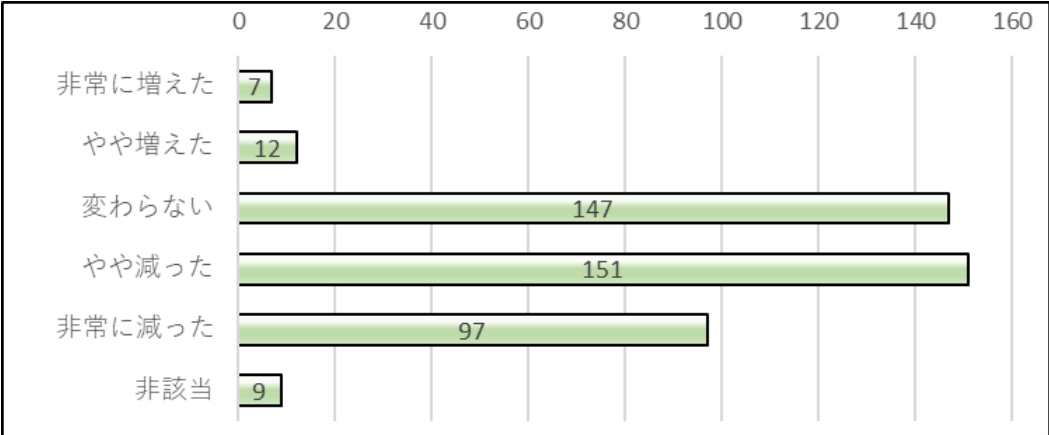
家族との直接対人交流（登校、出勤、通所、外出など）は、どのように変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	33	7.8%
やや増えた	61	14.4%
変わらない	207	48.9%
やや減った	78	18.4%
非常に減った	38	9.0%
非該当	6	1.4%
合計	423	100.0%



家族以外との直接の対人交流（登校、出勤、通所、外出など）は、どのように変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	7	1.7%
やや増えた	12	2.8%
変わらない	147	34.8%
やや減った	151	35.7%
非常に減った	97	22.9%
非該当	9	2.1%
合計	423	100.0%



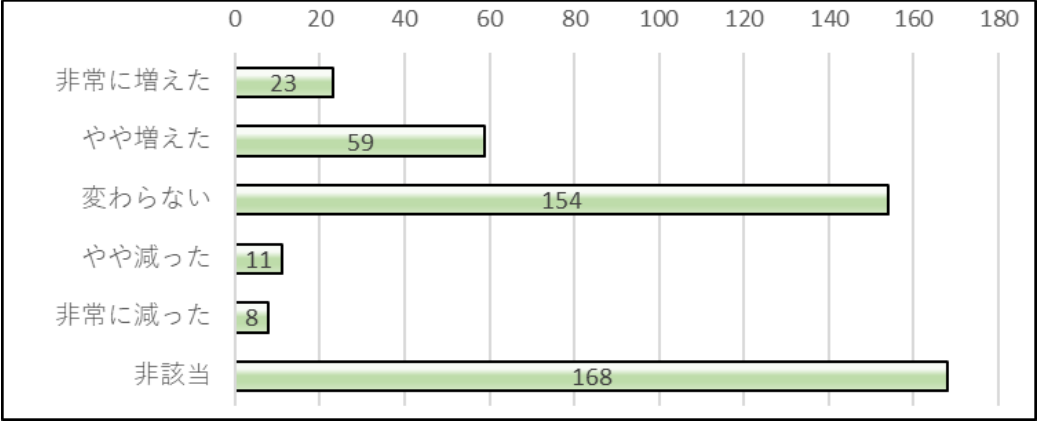
→家族との交流の変化は「変わらない」が全体の約半分を占めた。

→家族以外との交流は減少傾向がみられた。

Q15 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の変化で最もあてはまるのは、以下のどれですか？（3・4/7）

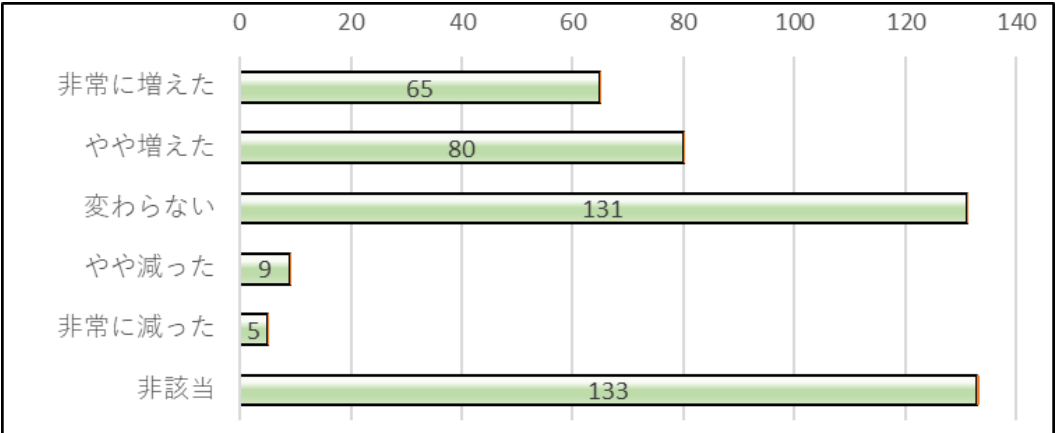
ネット（オンライン、メール、チャット、ライン、ズーム、スカイプなど）や電話などの間接的な対人交流は、どう変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	23	5.4%
やや増えた	59	13.9%
変わらない	154	36.4%
やや減った	11	2.6%
非常に減った	8	1.9%
非該当	168	39.7%
合計	423	100.0%



ゲーム（オンライン、オフラインとも）の時間は変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	65	15.4%
やや増えた	80	18.9%
変わらない	131	31.0%
やや減った	9	2.1%
非常に減った	5	1.2%
非該当	133	31.4%
合計	423	100.0%

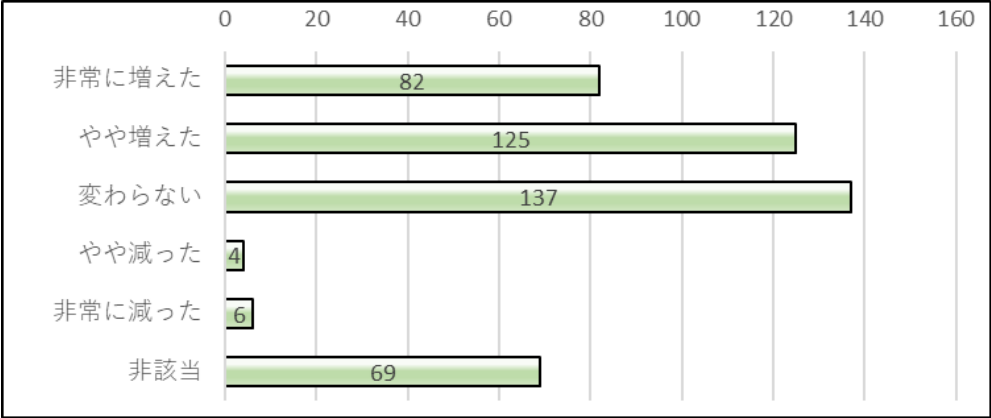


→在宅の時間が増えることで間接的対人交流やゲームの時間は増えることが予想されており、結果として約1/3程が「変わらない」と回答、その他は若干の増加傾向がみられた。

Q15 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の変化で最もあてはまるのは、以下のどれですか？（5・6/7）

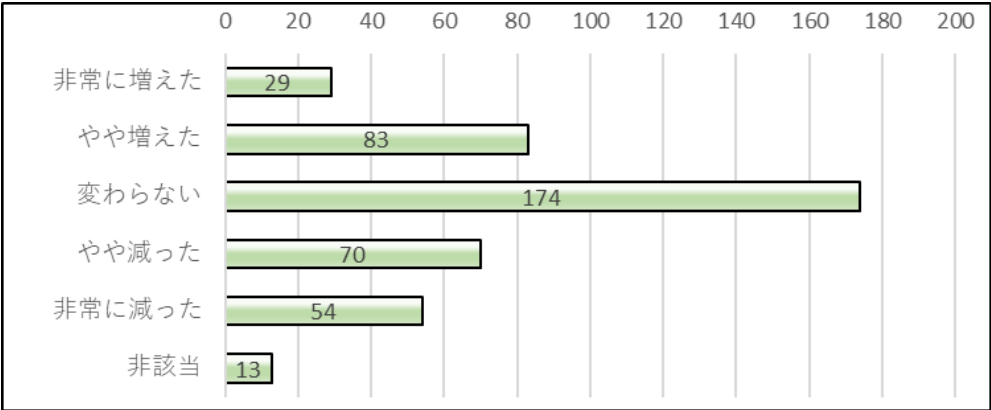
ネットの動画やウェブをみる時間（学業や仕事は除く）は変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	82	19.4%
やや増えた	125	29.6%
変わらない	137	32.4%
やや減った	4	0.9%
非常に減った	6	1.4%
非該当	69	16.3%
合計	423	100.0%



余暇や趣味、リラックスできる時間は変化しましたか？

項目	回答数	割合
非常に増えた	29	6.9%
やや増えた	83	19.6%
変わらない	174	41.1%
やや減った	70	16.5%
非常に減った	54	12.8%
非該当	13	3.1%
合計	423	100.0%



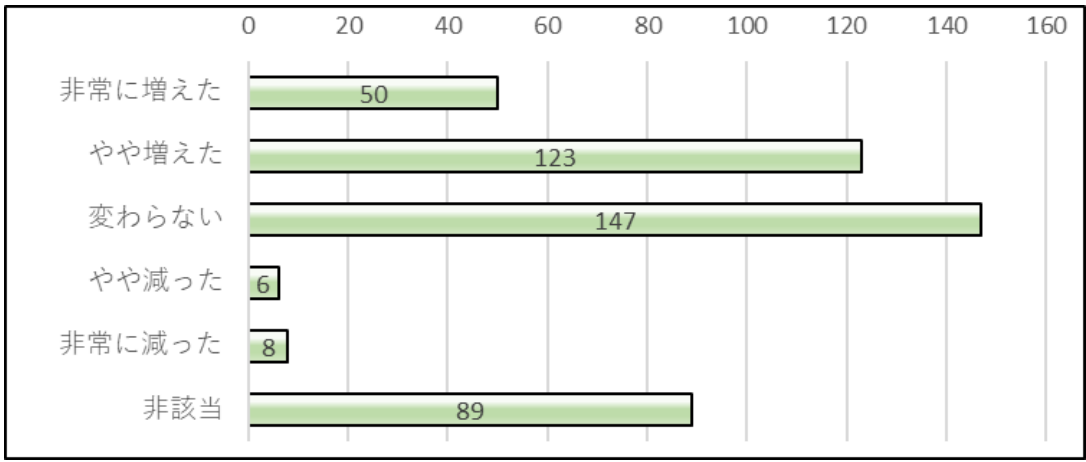
→ネットの動画やウェブの閲覧時間は、増加傾向が全体の半分程を占めた。

→余暇や趣味の時間は「変わらない」が4割以上を占め、コロナ禍においても極力ルーティンを崩さない方が多かったのではないかと推察される。

Q15 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の方の変化で最もあてはまるのは、以下のどれですか？（7/7）

ワイドショーやテレビニュースなどで新型コロナウイルスに関する情報に接する時間は変化しましたか？

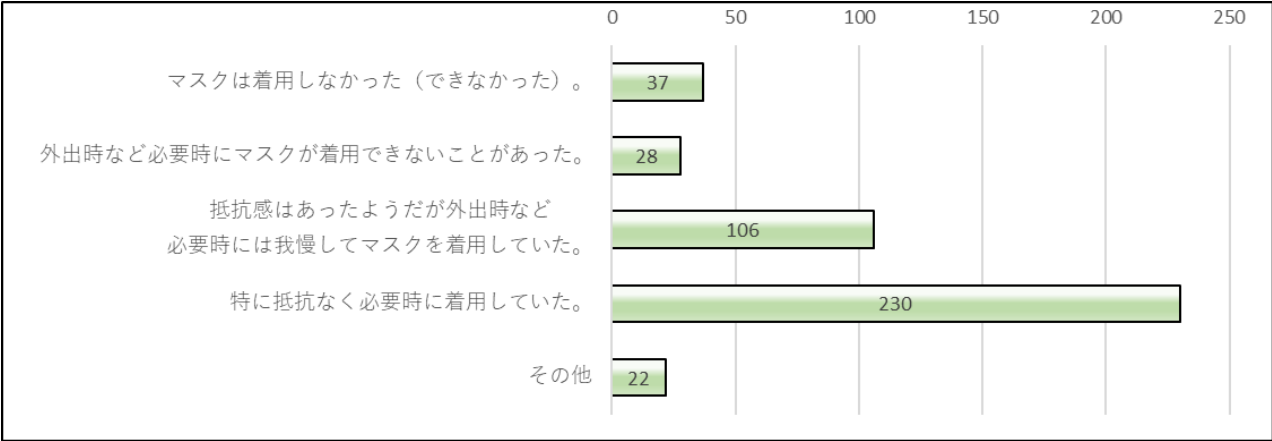
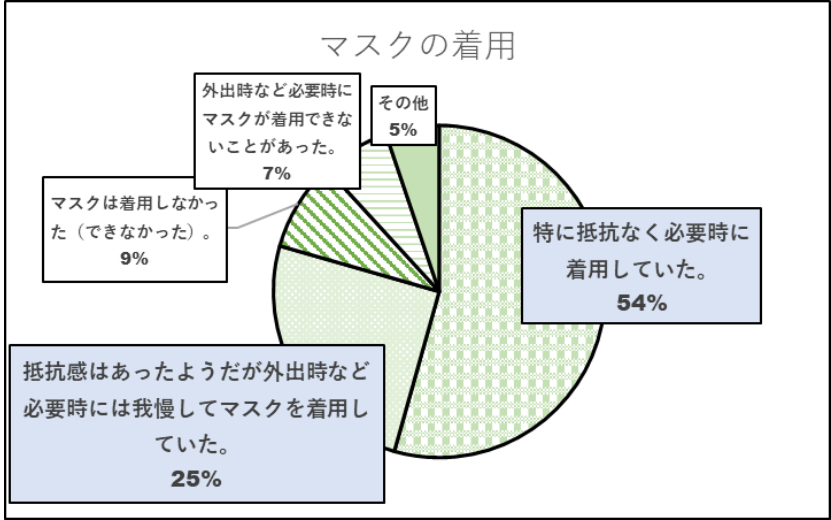
項目	回答数	割合
非常に増えた	50	11.8%
やや増えた	123	29.1%
変わらない	147	34.8%
やや減った	6	1.4%
非常に減った	8	1.9%
非該当	89	21.0%
合計	423	100.0%



→「非常に増えた」「やや増えた」が全体の約40%を占めた。
新型コロナ関連の報道に触れる機会は増加傾向にあることがわかった。

Q16 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の外出時のマスクの着用について教えてください。

項目	回答数	割合
マスクは着用しなかった（できなかった）。	37	8.7%
外出時など必要時にマスクが着用できないことがあった。	28	6.6%
抵抗感があったようだが外出時など必要時には我慢してマスクを着用していた。	106	25.1%
特に抵抗なく必要時に着用していた。	230	54.4%
その他	22	5.2%
合計	423	100.0%



→外出時にマスクを着用した方（我慢して着用した方も含む）は全体の8割以上となる。抵抗感を示さず着用していた方が全体の55%程に上り、コロナ禍でのマスク着用を受け入れていた方が多かった、一方「できない」「できなかった」の回答が約15%あった。。

Q16 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の外出時のマスクの着用について教えてください。

自由記述

（うまくできている）

- ・はじめ着用できなかったができるようになった。
- ・マスクの必要性を ネットやチラシの説明やイラストと、理由を書いて説明したら 納得してマスクをしている。
- ・マスクをさせると病気になったと思ってしまい興奮してしまうため、させことに問題があったが、現在は必要な時だけ指示をすれば落ち着いてできるようになった。
- ・鼻を出してならマスクの着用ができた。 ・必要性を説明することで本人が理解して外出時に着用できている。
- ・コロナ禍以前から冬場は外出時などマスクを普段からつけていたので大丈夫だった。
- ・不織布マスクが辛いので、手作りの布マスク、ガーゼマスクを作り、それを着用している。

（機会がない）

- ・外出していない。 ・着用する機会がなかった。 ・引きこもりで月1外出しているらしいがマスク着用は確認できない。

（状況による）

- ・外出時は何とか着用していますが、施設では外していることが多い。 ・学校の時だけしている。
- ・必要時にマスクの着用はできているが、夏場の着用には抵抗を示した。
- ・マスクをつけることへの抵抗はないが、ずらす事が多く 耳のつけ根が切れて出血するので事業所では仕事中は外し、移動時に着用する配慮をしてもらっている。

（過剰防衛）

- ・電車に乗る時マスクにゴーグルと過剰とも思える防御をしていた。 ・していないと不安が生じて外出が逆に難しくなった。
- ・必要ではない場所でも、マスクが外せなくなった。食事と風呂以外で外すことが恐怖になった。

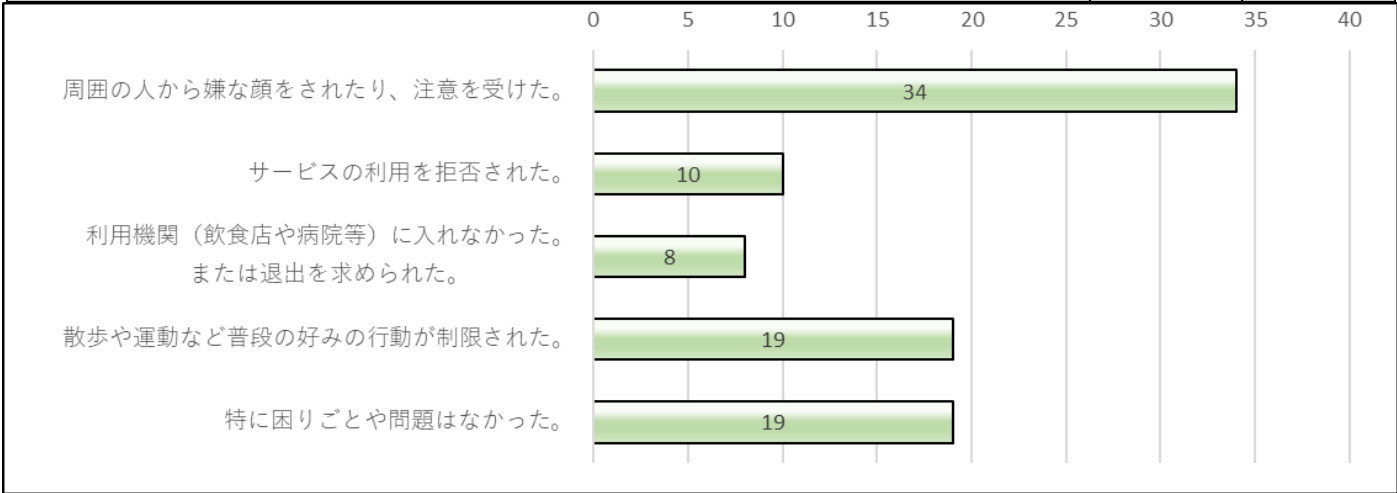
（うまくできない）

- ・マスクするが、破ってしまう事がある。 ・口や鼻からずれていて正しく着用できない。
- ・施設入所で、利用者はマスク着用はなし。 ・入院中 病院内でだれもしていない

Q17 Q16で「マスクは着用しなかった（できなかった）」「外出時など必要時にマスクが着用できないことがあった」と回答した方にお聞きします。マスクを着用しないことで生じた問題や困りごとはありますか。

項目	回答数	割合
周囲の人から嫌な顔をされたり、注意を受けた。	34	37.8%
サービスの利用を拒否された。	10	11.1%
利用機関（飲食店や病院等）に入れなかった。または退出を求められた。	8	8.9%
散歩や運動など普段の好みの行動が制限された。	19	21.1%
特に困りごとや問題はなかった。	19	21.1%
合計	90	100.0%

※複数回答有

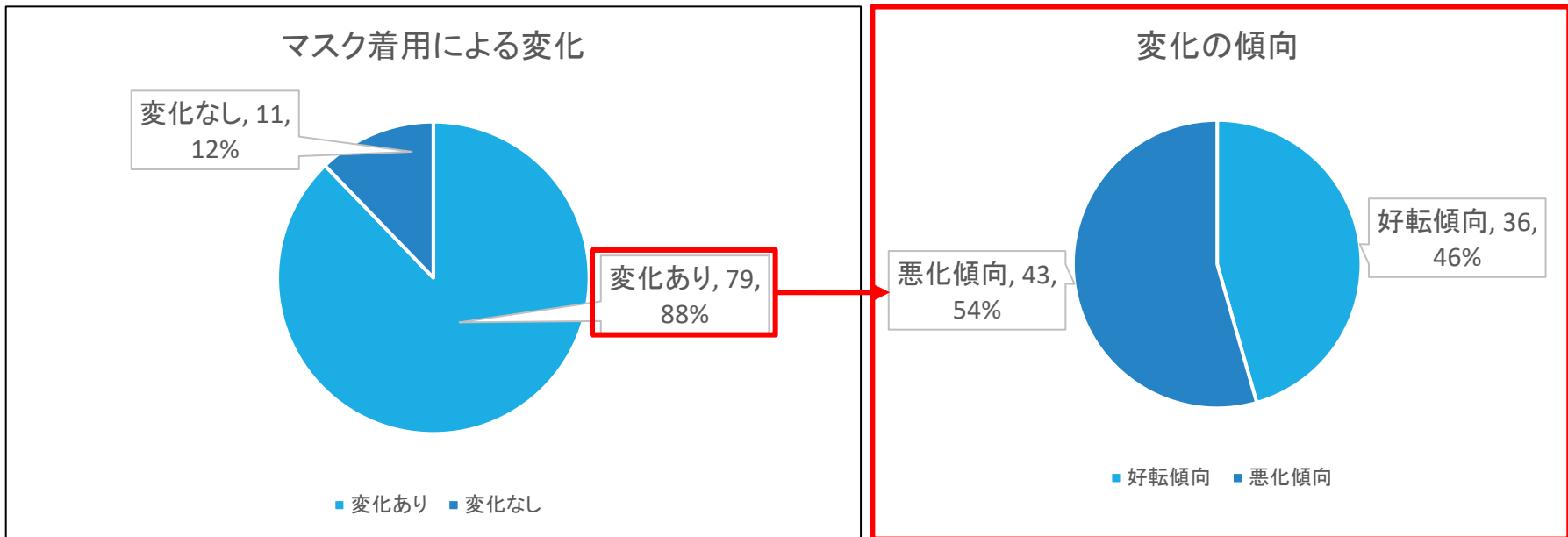


自由記述

お店などには行かないので、評価できない
 海外在住。マスク着用を周囲もしておらず義務でもない国です。
 学校、放課後デイの、お迎え以外、出歩かないようにした。外食も一切していない。

→マスク着用ができないことに対して、注意を受けたり、利用を拒否されたという回答が約8割だった。

Q18 Q16で「抵抗感があったようだが外出時など必要時には我慢してマスクを着用していた」と回答した方にお聞きします。我慢してマスクをしたことで何か変化はありましたか？



→マスク着用による生活の変化を感じた人は回答者90人中79人だった。

更に変化の内容を「好転傾向」「悪化傾向」に分類すると、半数以上が悪化傾向となった。

悪化傾向の詳細では、

「イライラする」(12) 「マスクを噛んでいた」(3)、「マスクを使いすぎてしまう」(2)

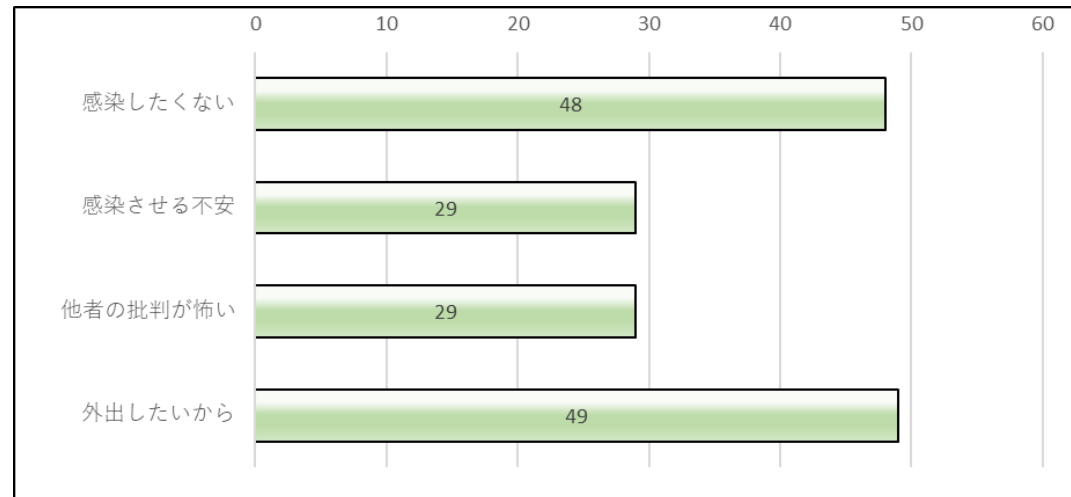
「強要されていると感じている」(3) 「落ち込む」(3) 「暑いときに嫌がる」(3)

等の回答が多くみられた。

Q19 Q16で「抵抗感があったようだが外出時など必要時には我慢してマスクを着用していた」と回答した方にお聞きします。我慢したのはなぜですか？

項目	回答数	割合
感染したくない	48	31.0%
感染させる不安	29	18.7%
他者の批判が怖い	29	18.7%
外出したいから	49	31.6%
合計	155	100.0%

※複数回答有

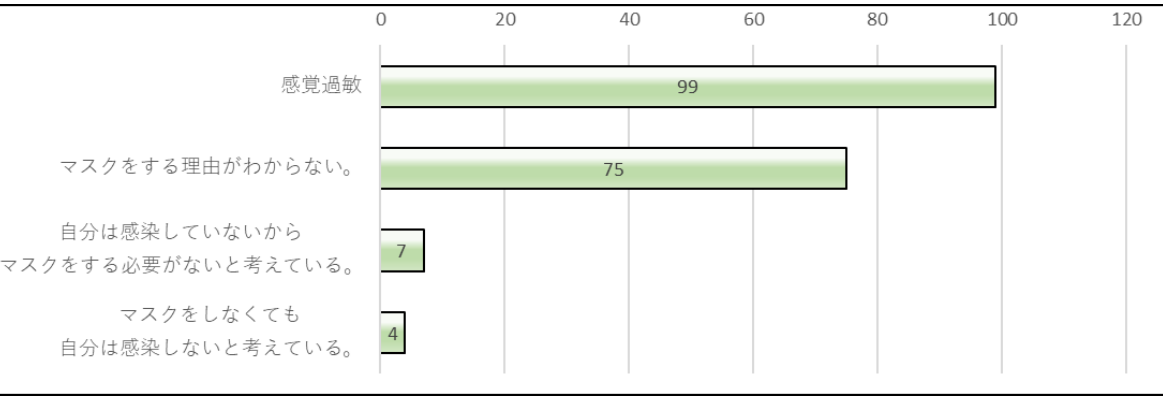


自由記述

- ・コロナ禍におけるマナーである、やるべきことはやるという認識(2)
- ・(親等)つけなさいと言われるから(5)
- ・みんながしているから(6)
- ・最初は嫌がったが何回も繰り返す内に付けてくれるようになった。伝え続けたから。(2)
- ・習慣化・新しいルール(4)
- ・通院のため(2)
- ・必要がある場所(作業所や病院)にしか行かない事を本人も納得してくれたから(2)
- ・幼稚園で必須のため。

Q20 Q16で「マスクは着用しなかった（できなかった）」「外出時など必要時にマスクが着用できないことがあった」「抵抗感があったようだが外出時など必要時には我慢してマスクを着用していた」を回答した方にお聞きします。なぜマスクをつけることに抵抗があったか、あるいはできなかったか理由はわかりますか？

項目	回答数	割合
感覚過敏	99	53.5%
マスクをする理由がわからない。	75	40.5%
自分は感染していないから マスクをする必要がないと考えている。	7	3.8%
マスクをしなくても 自分は感染しないと考えている。	4	2.2%
合計	185	100.0%



自由記述

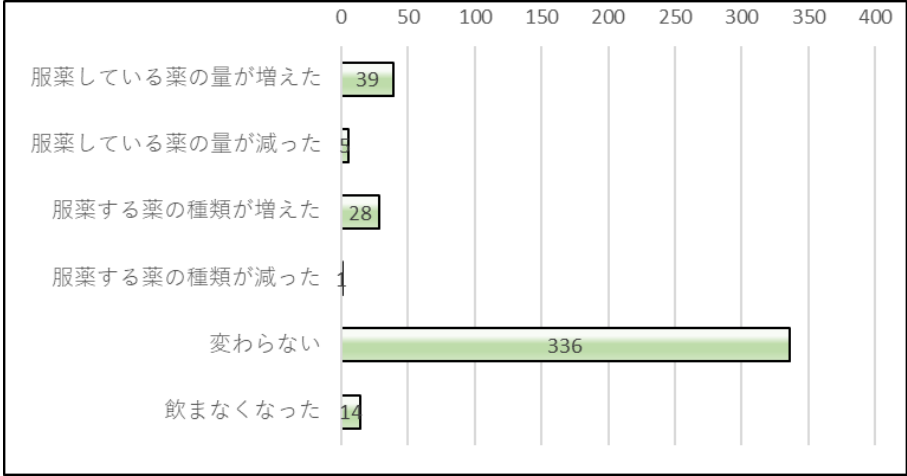
※複数回答有

- ・暑い・息苦しい・煩わしい・面倒・不快感・メガネが曇る・喘息(15)
- ・ほぼ外出もしていないので必要性もない。
- ・マスクは病院でするものとの認識。
- ・過敏ではないが、普段からマスクを着用する機会がなかったため。
- ・マスクをしている自分があまり好きではないから。かっこ悪くなると思っているみたいです。
- ・顔が見えなくなるのが嫌だと思われる。 ・マスクをすることが初めてで慣れてなかったため。
- ・マスクをする理由が分かりにくい、書いて説明するとなんとか着けてくれた
- ・感染する人が悪いわけではないとの思いやり。 ・着用することが分からず、嫌がっていた。
- ・自分でマスクをつけるという選択を選べたときはつけられる。
周りが勧めるままつける(人の指示でつける)というのが嫌。
- ・マスクをなめてしまう。 ・常時マスクをする習慣がなかった。 ・直ぐ取り外してしまう。
- ・多分、うっかり忘れてただけかと思います。 ・知的障害のため評価できない。

→マスクに抵抗があるのは、感覚過敏のためが半数以上、また理由がわからないが、約4割だった。

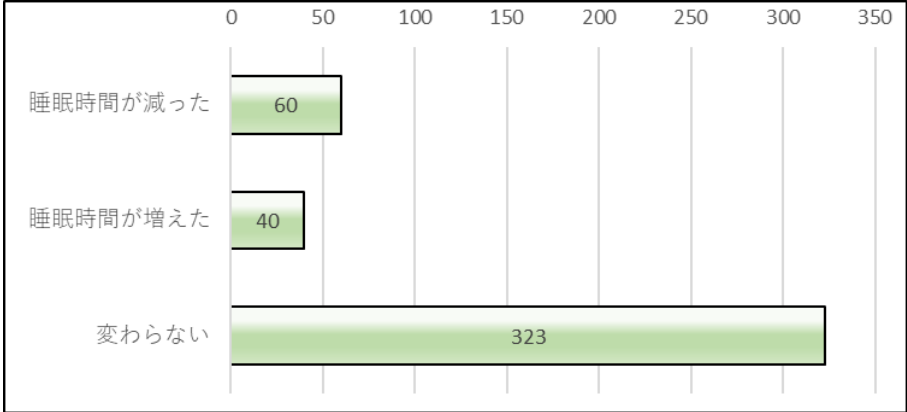
Q21 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の服薬について変化はありましたか。

項目	回答数	割合
服薬している薬の量が増えた	39	9.2%
服薬している薬の量が減った	5	1.2%
服薬する薬の種類が増えた	28	6.6%
服薬する薬の種類が減った	1	0.2%
変わらない	336	79.4%
飲まなくなった	14	3.3%
合計	423	100.0%



Q22 対象者（お子さん・自閉症の方本人）の睡眠時間に変化はありましたか。

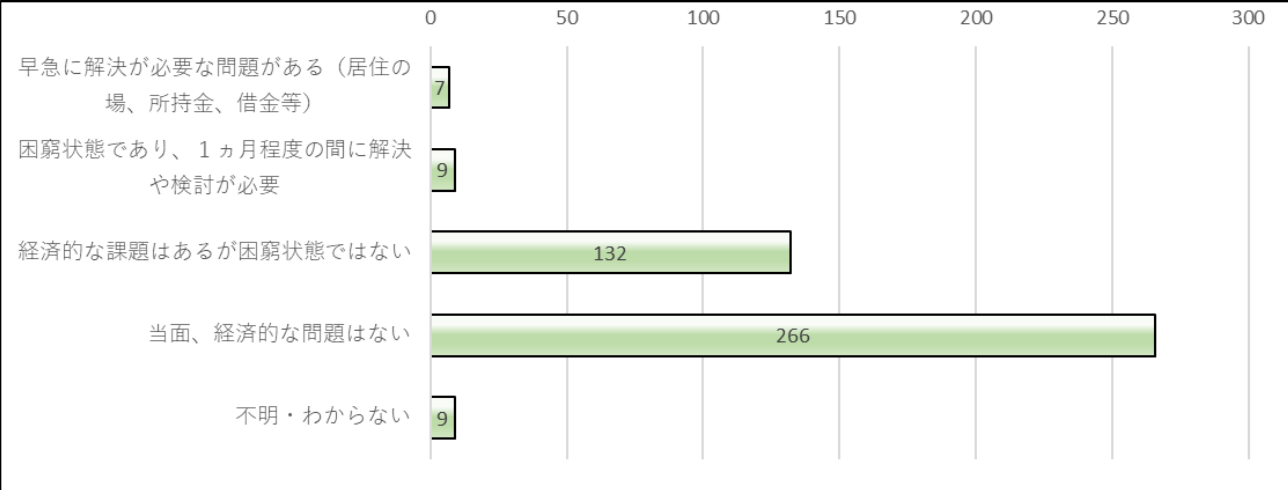
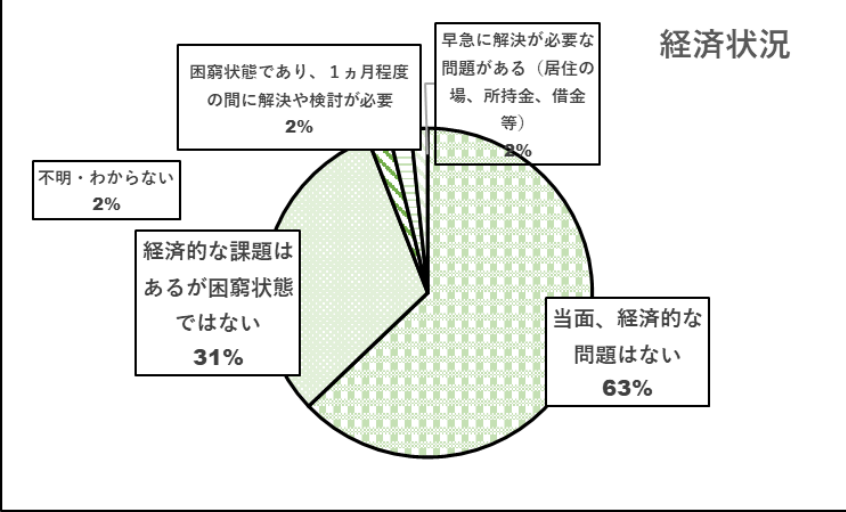
項目	回答数	割合
睡眠時間が減った	60	14.2%
睡眠時間が増えた	40	9.5%
変わらない	323	76.4%
合計	423	100.0%



→服薬・睡眠時間については、ともに「変わらない」と回答した方が、全体の約8割にのぼった。

Q23 新型コロナウイルスの影響で、回答者（親・家族）の経済的な（金銭面）変化はありましたか？

項目	回答数	割合
早急に解決が必要な問題がある（居住の場、所持金、借金等）	7	1.7%
困窮状態であり、1ヵ月程度の間で解決や検討が必要	9	2.1%
経済的な課題はあるが困窮状態ではない	132	31.2%
当面、経済的な問題はない	266	62.9%
不明・わからない	9	2.1%
合計	423	100.0%



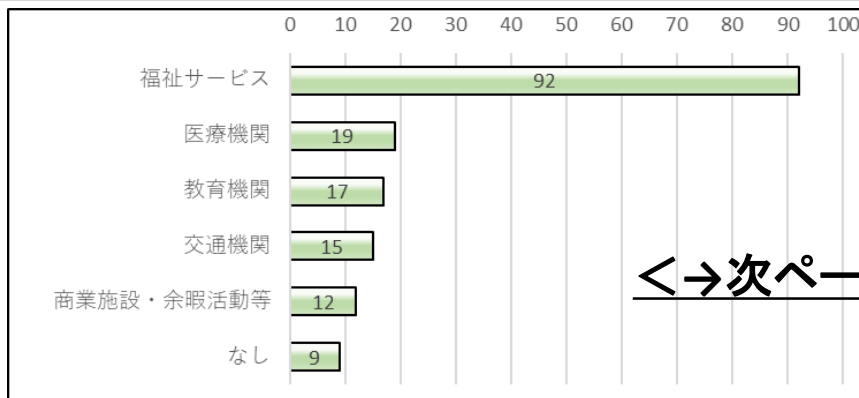
→金銭面は、「問題なし」・「課題はあるが困窮状態ではない。」が全体の94%となった。少数ではあるが、生活が困窮したケースもみられた。

Q24 新型コロナウイルスの影響で、これまで利用できていた福祉サービスや医療機関、教育機関、交通機関等で、利用できなくなってしまうものがあれば教えてください。

また、利用できなかった理由と利用できないことで生じた問題があれば教えてください。利用できなかったサービス・機関の種類（例、放課後等デイサービスが利用できなくなった等）

利用できなかった機関・サービス	回答数
福祉サービス	92
医療機関	19
教育機関	17
交通機関	15
商業施設・余暇活動等	12
なし	9
合計	164

※複数回答有



<→次ページに続く>

福祉サービス

- ・放課後等デイサービス(25)
- ・生活介護(10)
- ・短期入所(8)
- ・作業所(A型、B型)(8)
- ・ガイドヘルパー(7)
- ・移動支援、行動援護(14)
- ・日中一時(6)
- ・ショートステイ(4)
- ・通所(4)
- ・グループホーム(2)
- ・訪問介護(2)
- ・就労移行支援(2)
- ・その他療育教室・相談事業所(4)

医療機関

- ・通院・診察(8)
- ・入院(手術)・面会(2)
- ・作業療法・リハビリ(2)
- ・電話診療のみ(2)
- ・歯科病院・歯科検診(3)
- ・予約がとれない・回数減(3)

教育機関

- ・小中高等学校(3)
- ・特別支援学校(5)
- ・保育園・幼稚園(4)
- ・学童保育
- ・大学(3)

交通機関

- ・バス(3)
- ・電車(7)
- ・公共交通機関(6)

商業施設・余暇活動等

- ・お弁当屋
- ・デパート
- ・プール(3)
- ・入浴
- ・スポーツクラブ(3)
- ・宿泊キャンセル
- ・和太鼓サークル
- ・その他余暇活動(2)

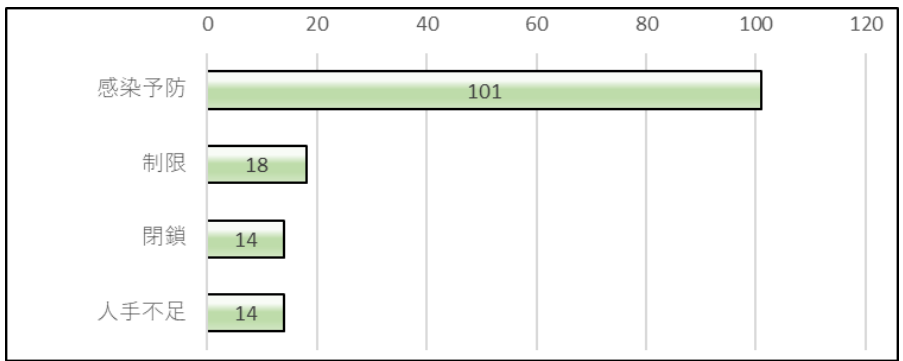
Q24 新型コロナウイルスの影響で、これまで利用できていた福祉サービスや医療機関、教育機関、交通機関等で、利用できなくなってしまうものがあれば教えてください。

また、利用できなかった理由と利用できないことで生じた問題があれば教えてください。利用できなかったサービス・機関の種類（例、放課後等デイサービスが利用できなくなった等）

利用できなかった理由

理由	回答数
感染予防	101
制限	18
閉鎖	14
人手不足	14
合計	147

※複数回答有



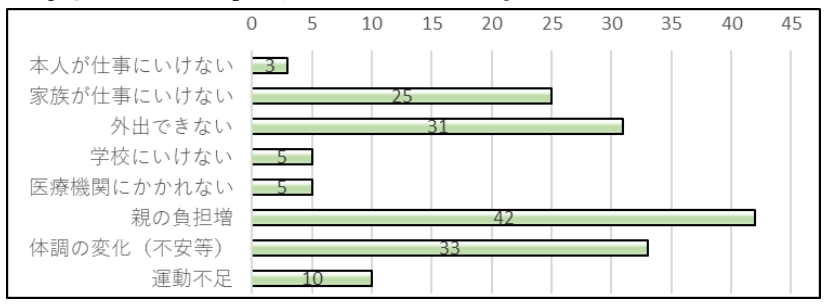
福祉サービス・医療機関・教育機関・交通機関・商業施設や各活動は、感染予防の観点から利用ができなくなった、または制限されたとの回答が多くみられた。

福祉サービス(外出支援・入所施設)の利用については、支援員の人手不足が原因として挙げられていた。

生じた問題

※複数回答有

生じたこと	回答数
本人が仕事にいけない	3
家族が仕事にいけない	25
外出できない	31
学校にいけない	5
医療機関にかかれない	5
親の負担増	42
体調の変化（不安等）	33
運動不足	10
合計	154



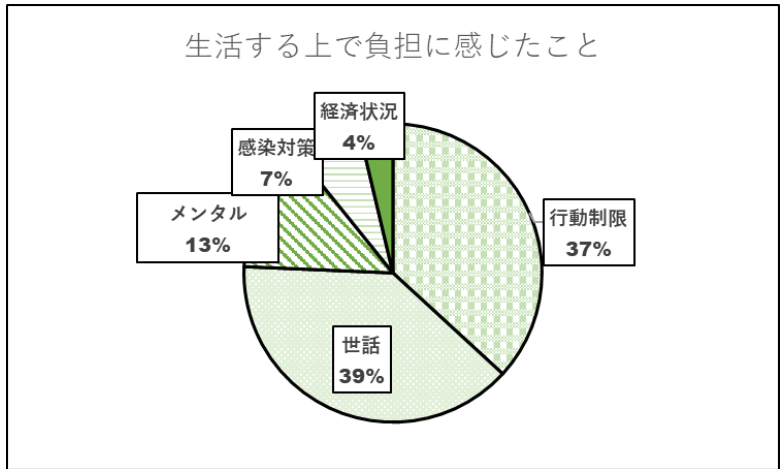
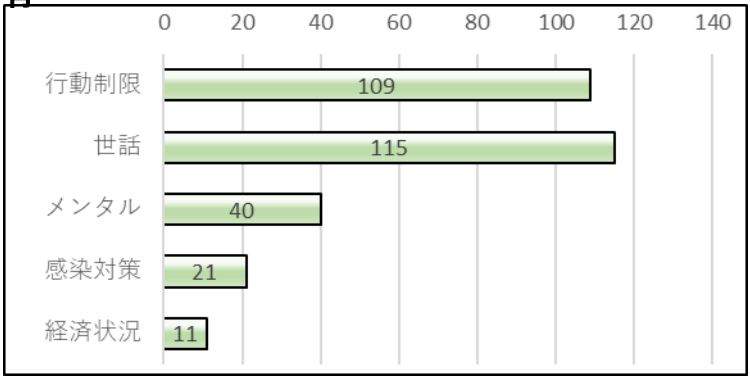
在宅で家族で一緒にいる時間が増え、外出できない・生活が変化したこと等による体調の変化(不安)から親の負担が増えていると感じている人が多くみられた。

また、日中の生活が在宅となったことで、親が仕事にでれなくなったという回答もみられた。

Q25 コロナ禍において、回答者（親・ご家族）が生活する上で負担になった(感じた) ことを教えてください。負担になった(感じた) こと

※複数回答有

項目	回答者
行動制限	109
世話	115
メンタル	40
感染対策	21
経済状況	11
合計	296



<行動制限>

- ・親子で自宅で過ごすこととなり、仕事もいけず、親の自由時間もなくなってしまった。
- ・コロナ以前から外出出来なくなっていた息子に、外出を促すことが出来なくなった。(2)
- ・外出や外食などの楽しみを減らさなければならず、本人の生活空間が狭くなってしまった。等

<世話>

- ・家事に追われた。1日3食、食事の準備、片付けをすること。(15)
- ・子どもの在宅時間が増えて子も親もリラックス出来ない。等

<メンタル>

- ・子どもの不安増加・イライラが増えた。
- ・子どもが登校・就業できなくなった。

<感染対策>

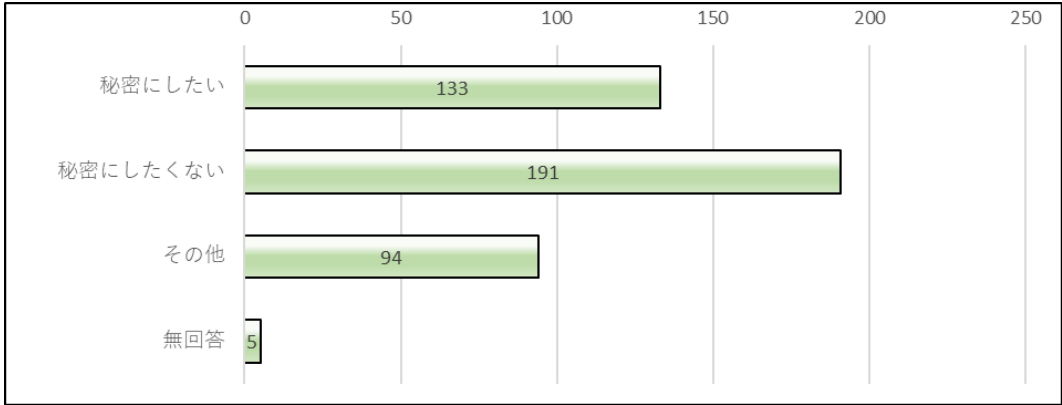
- ・手洗い・うがい等家族に強要するようになった。コロナに関する報道の情報を家族にも見るよう強要するようになった。
- ・感染予防について正しく理解させることが難しい。 ・マスク着用・手洗いうがいを徹底させること。 等

<経済状況>

- ・収入が減った。 ・子どもの勉強や遊び、食事など金銭的な負担が増えた。 等

Q26 もしも、子どもがコロナに感染した場合、秘密にしたいですか。

項目	回答数	割合
秘密にしたい	133	31.4%
秘密にたくない	191	45.2%
その他	94	22.2%
無回答	5	1.2%
合計	423	100.0%



自由記述

(秘密にできない・公表する)

- ・1人で入院することが出来ないため、自ずと公表することになる。
- ・あまり知られたくないが、就労しているので秘密にはできません。(2)
- ・ある程度の理解力があるので秘密にすることが困難である。
- ・学校、支援機関ともに感染したらすぐに教えて下さいと言われていています。秘密にする意味がわかりません。
- ・敢えて公言はしたくないが就労先が接客業の為、知らせる必要に迫られると思う。
- ・周りの反応を考えると秘密にしたいが、感染拡大への影響を考えると秘密にできない。
- ・職場やきょうだい児の学校等、伝えざるを得ないと思う。ここまで感染が拡大しているので流行当初ほど大騒ぎにはならないとは思いますが、ただし積極的に触れて回ることもないと思うので、「秘密にたくない」というのとは違うと思います。
- ・秘密にできないと思う。(12)
- ・秘密にしてはいけない。(3)

[<→次ページに続く>](#)

Q26 もしも、子どもがコロナに感染した場合、秘密にしたいですか。

自由記述

(時と場合による)

- ・その時になってみないとわかりません。(4)
- ・周りや社会の状況による。(5)
- ・どちらともいえない。(5)

(秘密にする必要はない)

- ・したい、したくない は特にない。秘密にする必要性は感じない。
- ・秘密にしたいと思わないが、家族がみんな同じ思いではない。
- ・別に秘密にしたいとは思わないが、あえて公にしたいとも思わない、自然に。

(秘密にしたい・するかもしれない)

- ・もし無症状だったら、秘密にしてしまうかもしれない(2)。
- ・関係のない人には知られたくない。
- ・支援学校の同級生や保護者などには知られても良いが、住んでいる地域が田舎で世間が狭いので、ご近所には知られたくない。
- ・施設に迷惑がかかるようなら秘密にしたい。
- ・秘密にしたいが、限界もあるだろうし、障害のある我が子が、医療従事者にかかる迷惑を考えると、手にかけてしまうかもしれないと考えたりします。

(必要な人・場所には伝える)

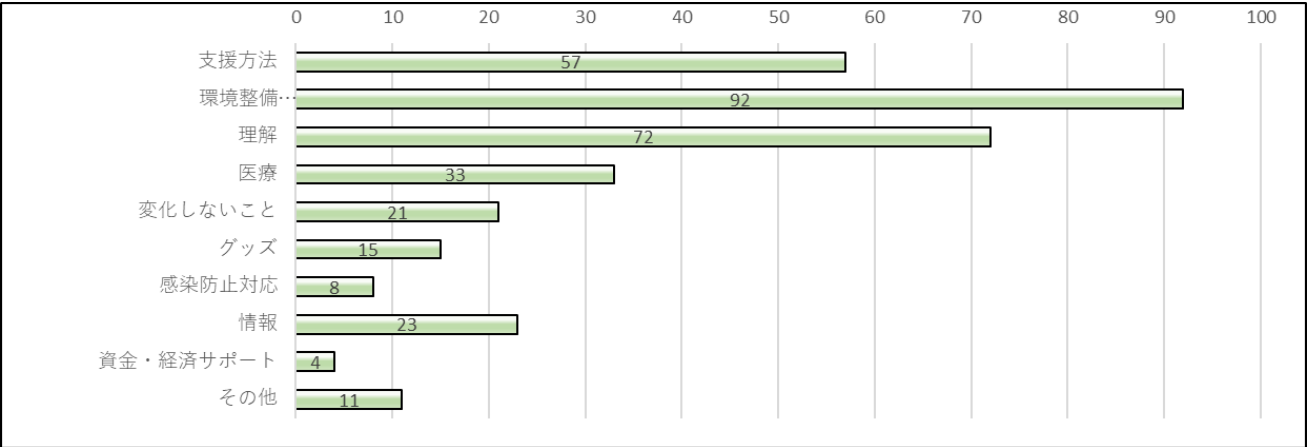
- ・会社や機関等必要なところには伝える。(14)
- ・言うべき人のみしっかり伝えたい。(2)
- ・通所先など必要なところには情報提供するが、ご近所などには開示したくない。
- ・特にこだわりはありませんが、誰にでも話すことはないと思います。
- ・本人にはきちんと説明し、周りには秘密にしたい。

(その他)

- ・地域の方と同じ対応がしたい。
- ・行政が取り決めた範囲の公表に従う。
- ・話してもわからない。
- ・質問の意図がわからない。そもそも秘密にできるものですか？誰に対して秘密にするのですか？

Q27 新型コロナウイルスによる社会変化に対して、自閉症の方にどのような支援が必要と考えますか？ 自由記述

必要なこと	回答数
支援方法	57
環境整備 (居場所・理解者)	92
理解	72
医療	33
変化しないこと	21
グッズ	15
感染防止対応	8
情報	23
資金・経済サポート	4
その他	11
合計	336



※複数回答有

自由記述 (多くみられた回答)

- ・感覚過敏や障害特性のため感染予防が難しい場合の周囲の理解(マスク着用・手洗いうがい)(36)
- ・実際に子どもや親が感染(入院)したときが不安、その対応(受け入れ先や任せられる人)(30)
- ・本人が安心できる場所・人の確保(13)
- ・視覚支援、見通しをもてるような接し方(スケジュール等)・本人にわかるような説明・伝える手段(12)
- ・普段と変わらないサイクルで生活できること。(11)
- ・支援者、学校の先生、診察の際の医師、一般の方の理解(5)
- ・目で見てわかりやすくかつ正しい感染予防の情報が欲しい。(手洗い・うがい等含む)(4)
- ・ほかの自閉症の方がうまくいったコロナ対策や感染した場合の情報(図等)の共有。(3)
- ・コロナウイルスについての正しい知識(3)

[< →次ページに続く>](#)

Q27 新型コロナウイルスによる社会変化に対して、自閉症の方にどのような支援が必要と考えますか？ 自由記述

<その他自由記述抜粋>

・安定して、落ち着いた生活ができるようにすることが大切。いつも通っているところに、通所できないようなことになると、生活リズムが崩れ、問題行動が増えることが考えられる。そして、家族との関係も悪化し、コロナウイルスの問題が収束しても、本人の状態を元に戻すには、相当の時間がかかる可能性がある。悪化するのには、早い改善には時間がかかる。また、親は仕事にでかけることができなくなる可能性がある。

・日中活動をリモートで行っても通所日数にカウントするようになると、事業者サイドもリモートによる活動に積極的になるのではないかと思う。

・もし、かかった場合。新型コロナという事がまず理解出来ない上に知らない場所に隔離されると...もし軽症だったらまず間違いなくパニックになり暴れると思います。それを力づくや薬などで抑えられると思うと不安です。軽症ならば、親も移る覚悟で自宅と一緒に過ごせたらまだ安心。災害時に福祉避難所が作られるようになってきましたが、コロナウィルスでも福祉病院のような物が出来れば有難い。決して差別的な意味ではありません。みんなの為に。難しい事だと思えますが。

福祉系の事業所の受注作業が無くなってしまい(特に食品系や海外原材料のもの)工賃が、出ない所が増えてしまった。事業所に行っても、やる作業が無い状態。福祉事業所へ仕事のあっせんや保証を手厚くして欲しい。学校への支援として、コロナ禍で出来る、課題や教育実例を、共通教材として、小中学校の支援級へ知らせて欲しい。マスクをすることや消毒・衛生概念などを、構造化したり、映像で見せるなど、障害のある子でもわかりやすい教材を提供して欲しい。感染が怖いので、家に閉じこもっている家族が沢山います。困っていると声をあげなくても、「大丈夫ですか」と声をかける支援をして欲しい。誰もが、声をあげられるわけではありません。

Q28 新型コロナウイルスによる社会変化と発達障害の支援ニーズについてご自由にお書きください。ご意見・ご要望

- ・発達障害に限らず、寛容さ/不寛容さのせめぎ合いが表面化したように思う。多様性を認める寛容な社会にするため、「様々な困り感をもつ人がいる」ことが受け入れられるような支援策を考えていきたい/考えてほしい。
- ・大きな公園に連れて行き、葉っぱをちぎって遊ばせていたが、近くにいた老夫婦にマスク着用の注意を受けた。重度の知的障害がある旨を説明しても、『そういう人間は自宅にいるようにしろ』と言われた。まだまだ発達障害に対する理解も少なく厳しい世の中だなと感じた。コロナが流行り外出がさせられず、つらい思いをさせているなと感じてしまう。
- ・情報保障 本人の分かる、受け取れる形での 情報を 伝える。聞いても途中で 忘れてたり、聞き取れない事が 辛いと言うことを伝えても 話しかける、聞き取れる事が重要視される学校や施設では 過ごしにくいです。今回のコロナ禍では お店での ポスターや足マーク、マスクや消毒の説明、話しかけずにジェスチャー、ルールの見える化、会話の減少など とても嬉しい環境変化でした。
- ・障がいの度合いによって必要な支援は変わってくると思います。重度の方は、コロナそのものへの不安はあまりなく(理解できず)、むしろいつもの生活ができなくなったことへの不安の方が大きいのではと思います。障がいの程度が軽い方は、生活の変化に加えて感染の不安、この先どうなるか見通しが立たない不安など様々な心配を抱えているのではないかと思います。家族だけで対応するには限界があるので、通学・勤務先、あるいは公的機関で発達障害の方たちが抱える不安に対してのカウンセリングをして問題点を洗い出し、適切な支援をしていただきたいと思います。
- ・教室や飲食の時のボードや仕切りなど、社会のほうが自閉症の人の特性配慮や支援ニーズに近づいてきているように感じている。人の多いところは、苦手なのでドライブのみとか休日は満足しているので、精神的には落ち着いている。人の怒った様子や声など苦手なので、コロナでパニックっている周囲の人や家族のイライラした影響をうけないように気を付けたい。自閉症の人や保護者の集まるような活動が今年はやめていないのが残念です。バスハイクやらできません。来年はオンライン講演などや会議がもっと増えていくのでしょうか。社会変化についていけるのか、私自身戸惑っています。変化に抗う気持ちや慣れ親しんだ行動様式にしがみつきたい気持ちがあります。息子のほうが自然と今の社会変化になじむかもしれません。

[<→次ページに続く>](#)

Q28 新型コロナウイルスによる社会変化と発達障害の支援ニーズについてご自由にお書きください。ご意見・ご要望

・カレンダーやスケジュール、視覚的支援、選択活動、見える形のコミュニケーションなど、日頃からきちんと行われている場合は、さほど問題ないが そう言う適切な支援がされていない場合は、困るだろうと思う。学校や、事業所で、コロナの感染があった場合、全て利用不可となることを思うと、それを自助努力で乗り越えるのは、難しいと思う。 そのことにより、親の収入が減るようなことにもなりかねない。 早くの終息を望む

・コロナ禍で大きく世の中の常識が変わっても、あっそっかと行動変容ができません。変わることにストレスだけでなく、理解も難しい。だけど、この子供を守るためにも新しい生活様式を教えていかなければなりません。そのためには、こんな工夫で〇〇できたよなど、できたことの工夫点の共有や研究も進み、戻込みすることなく支援も理解も進んでほしい。

・コロナ禍だからの仕事もあると思います。AIが、人間の仕事にとって代わるなどという話がありましたが、マンパワーでないとダメな仕事も沢山あると思います。福祉事業所とそういった企業や行政機関との間に入って取次ぐ、仕組みが欲しいです。

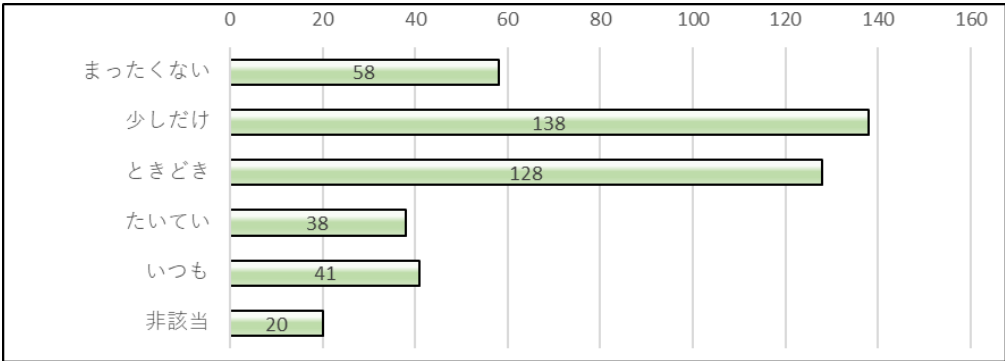
・放課後デイなどが使えなくなることはなかったが、成人の就労施設を併している施設では、クラスターや感染を恐れて本当にピリピリしており、花粉症の息子は個室に入れられたりした。熱も何度も測って、異常がないかあ探ら探されてるように感じることもあった。親も仕事があるので、お願いして出勤しなければならないこともあり、また施設のそのような体制も仕方ないと感じるところでもある。こうしたら良いという、具体的な案はないが、マスクの必要性を視覚支援することや、自閉症をみってくれる医師などによる一般の人たちへの説明などが社会の理解を深めていくのかもしれないと思う。

・発達障害は、なかなか一筋縄では行きません。発達障害だけをフォーカスせず、背景にあるあらゆるスペクトラム(家庭内の事情や経済的な事も含め)幅広い視野で必要とされる支援を。国の政策や社会、地域に支援機関が整備されていても、必要とされる当事者がつながり、安心して力を存分に発揮できるとは限らない。つなげるコーディネーターは専門家では無く友達でも良い。地域の資源をフル活用して、みんなで考えて行くのが望ましい。

Q29 回答者（親・ご家族の方）のご自身のメンタルヘルスについてお伺いします。過去30日間の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか？わからない時も「非該当」にチェックしてください。（1/2）

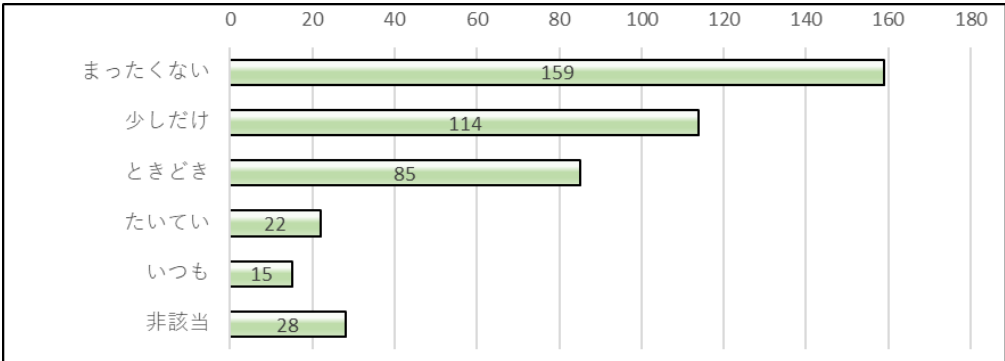
神経過敏に感じましたか

項目	回答数	割合
まったくない	58	13.7%
少しだけ	138	32.6%
ときどき	128	30.3%
たいてい	38	9.0%
いつも	41	9.7%
非該当	20	4.7%
合計	423	100.0%



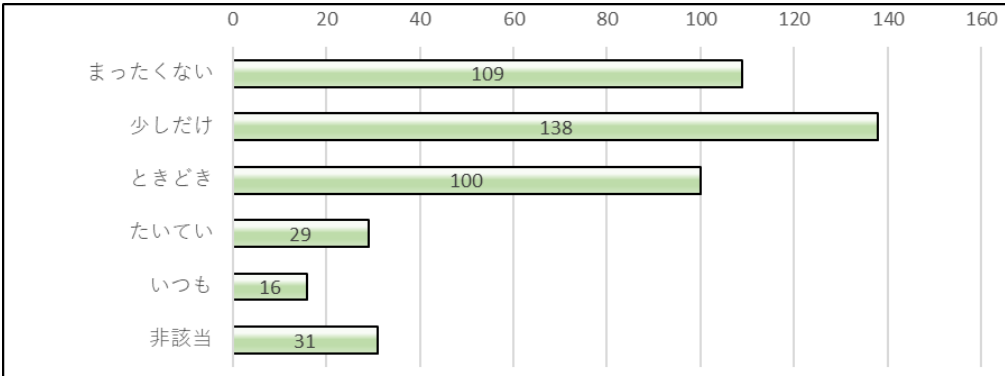
絶望的だと感じましたか

項目	回答数	割合
まったくない	159	37.6%
少しだけ	114	27.0%
ときどき	85	20.1%
たいてい	22	5.2%
いつも	15	3.5%
非該当	28	6.6%
合計	423	100.0%



そわそわ、落ち着かなく感じましたか

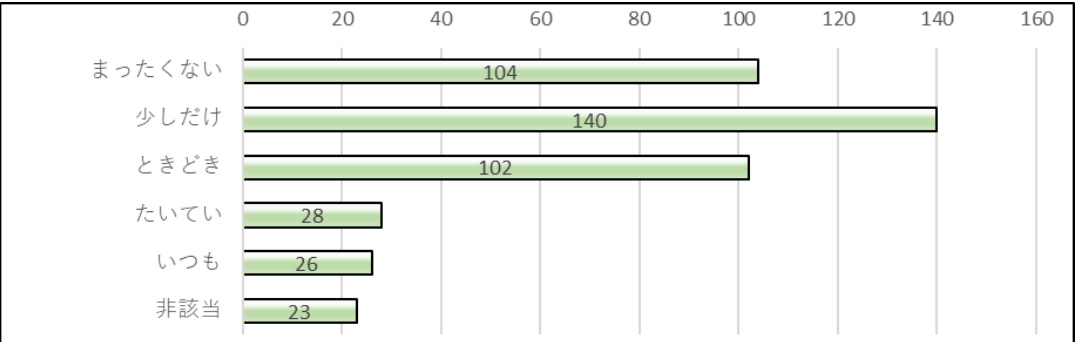
項目	回答数	割合
まったくない	109	25.8%
少しだけ	138	32.6%
ときどき	100	23.6%
たいてい	29	6.9%
いつも	16	3.8%
非該当	31	7.3%
合計	423	100.0%



Q29 回答者（親・ご家族の方）のご自身のメンタルヘルスについてお伺いします。過去30日間の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか？わからない時も「非該当」にチェックしてください。（2/2）

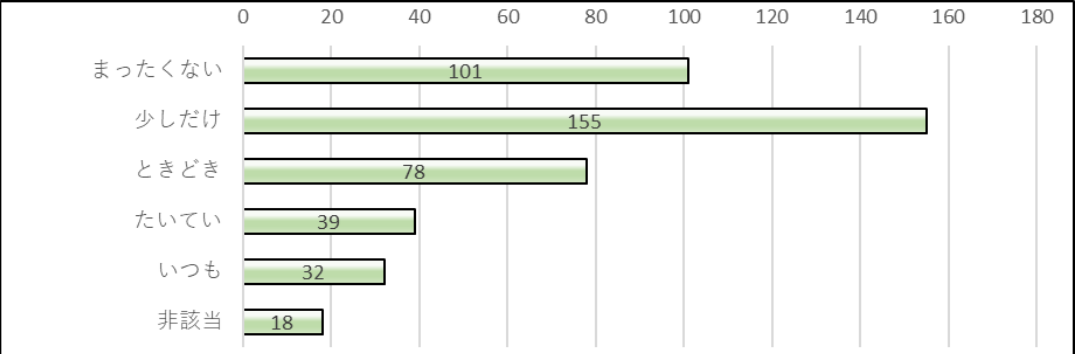
気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか

項目	回答数	割合
まったくない	104	24.6%
少しだけ	140	33.1%
ときどき	102	24.1%
たいてい	28	6.6%
いつも	26	6.1%
非該当	23	5.4%
合計	423	100.0%



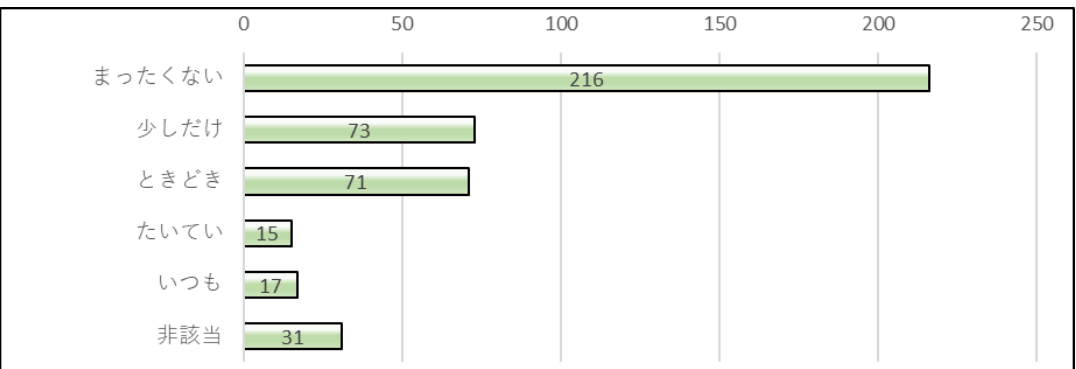
何をするのも骨折りだと感じましたか

項目	回答数	割合
まったくない	101	23.9%
少しだけ	155	36.6%
ときどき	78	18.4%
たいてい	39	9.2%
いつも	32	7.6%
非該当	18	4.3%
合計	423	100.0%



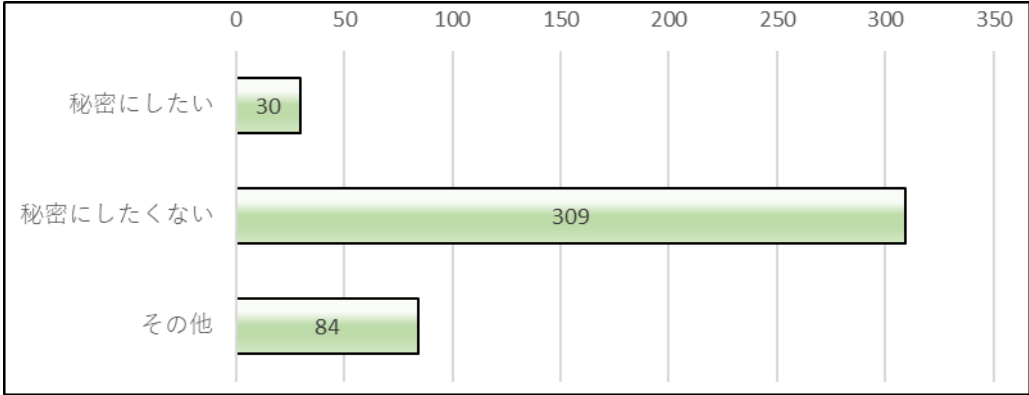
自分は価値のない人間だと感じましたか

項目	回答数	割合
まったくない	216	51.1%
少しだけ	73	17.3%
ときどき	71	16.8%
たいてい	15	3.5%
いつも	17	4.0%
非該当	31	7.3%
合計	423	100.0%



Q30 あなたはお子さんが発達障害であることを秘密にしたいですか？

項目	回答数	割合
秘密にしたい	30	7.1%
秘密にしたくない	309	73.0%
その他	84	19.9%
合計	423	100.0%



自由記述

(人・状況による)

- ・人や状況による。(30)
- ・わかってもらえない人には無理な人もいるから、臨機応変で対応する。
- ・公にしたいはありませんが、親しい方にはしっかりお伝えしたい。(2)
- ・差別的にとる人には、秘密にしたい。
- ・付き合う人によって区別している。
- ・正しい理解をしてもらえるなら秘密にしたくないです。しかし正しく理解してもらえない相手なら秘密にしたい。
- ・秘密にした方が、周りが本人が生きやすく作用するのであれば、秘密にしたい。秘密にしない方が、周りが本人が生きやすく作用するのであれば、秘密にしたくない。
- ・療育の成果で見た目には発達障害だとはわからないが医療機関など最低限必要な所で本人の同意を得た上で伝える。

(積極的には開示しない)

- ・秘密にしたいとは思わないが、あえて公開しようとも思わない。(4)
- ・必要なときや必要な人には伝えたい(5)
- ・わざわざ言う必要は無いが、その時に応じて特性がある事は説明したい。(3)
- ・自分からは言いませんが聞かれた時は答えたい。聞かれたときに答える程度でよい。(2)
- ・あえて秘密にはしないが、聞かれなければあえて伝えるような間柄でない人には伝えてない。

Q30 あなたはお子さんが発達障害であることを秘密にしたいですか？

自由記述

(知ってもらいたい)

- ・むしろ、多くの人に知ってもらったほうが、息子本人が生きやすくなるだろうと思っています。
- ・義父です。公にしたいです。
- ・積極的に話したいが、どう子供の耳に入るか分からないので本人に話すまでは秘密にしたい。
- ・地域に知ってもらうことが重要なので隠そうとは思いませんが、兄弟はそうは思っていないかもしれず悩ましいところです。

(秘密にしたい)

- ・したいときもある。 ・秘密にしたいが、家から脱走するので、近所中に迷惑をかけている...
- ・必要最小限の者以外は秘密にしたい。

(秘密にしたくない)

- ・まだ小学生なので診断名は言わないが支援が必要であることは秘密にしたくない。
- ・秘密にしたくないが、配偶者が秘密にしたがり無理解。しかし水面下では母親として沢山相談に行き連携している。

(どちらでもない)

- ・どちらでもない。特性だと思うから(2) ・わからない(2)

(すでに知られている)

- ・したいとかしたくないとか極端な気持ちはない。隠さずナチュラルにオープンにしている。 ・公表しています。(2)

(時期がきたら伝える)

- ・18歳になったら主治医から告知することが決まっている。
- ・本人にいつか告知するときが来ます。秘密にする、しないは本人のいきやすさで対応します。
- ・時がきたら話そうと思う。(2)

(その他)

- ・見ればわかる。秘密にできない(8) ・秘密どころか、自慢の息子です。 ・話しても理解が難しい。
- ・隠す必要はありませんが、いう必要もないと思っています。本人の大切な情報なので。
- ・子どものうちは周りに理解されたいと思い出来るだけ告知したが、それが仇となり、むしろ好奇な視線を受けたり嫌がらせを受けたりして...現在はなるべく告知しないようにしている。
- ・このような質問が無くなるような世の中になればと願う。 ・話しても理解が難しい。